

水泳

三鷹市水泳連盟創立50周年記念誌



三鷹市水泳連盟

水しぶき

— 創立50周年記念誌 —



2008年11月

三鷹市水泳連盟

＜ 三鷹市水泳連盟50年誌「水しぶき」の発刊について ＞

三鷹市水泳連盟が誕生して50年・・・半世紀が過ぎました。

草創期にご活躍やご苦勞をされた方たちのお陰で、今日まで三水連は元気に歴史を刻んでまいりました。諸先輩の皆様へ感謝の意を捧げるものであります。

三鷹市による市民の運動団体育成方針を受けて、連盟は会員共々大いに成長し、その諸活動は隆盛を謳歌しましたが、高度経済成長を背景に市民生活の変革や世相の移り変わりも目まぐるしく、例えば「施設や用具、そして種目も限られた運動環境→施設や用具が豊富になり、運動種目も選択自由な環境」また「団体志向→個人志向」「競技志向→健康志向」などなど市民の運動への取り組みや考え方に於いても、大きく変化し、個性尊重の風潮が著しくなっています。

今や、水連を中心に・・・或いは水連の傘の下に集まるという気運は低下しつつあり連盟会員の高齢化と共に会員の減少傾向も顕著であります。

人生に例えるなら、中高齢期を迎えたのだと言えましょう。

この事実を踏まえて「若返り作戦の遂行」がこれからの命題であります。

今、50周年記念という大きな節目の時を迎えて、半世紀の実績を振り返りつつ50周年記念誌「水しぶき」を編纂いたしました。

「水しぶき」が、次代に向けた連盟並びに会員各位の活動に際して、新たな発想や活力向上に少しでも寄与することが出来れば幸いです。

終わりに、50年誌「水しぶき」発刊の趣旨に賛同いただき、快く執筆いただいた方々に心から感謝の意を表します。

平成20年11月

理事長 深谷 壽邦



'99 保谷市



'02 市町村大会(立川市)



市町村大会



'07 立川市



'06 福生市(羽村市)



'08 武蔵野市



891112第1回
東京都マスターズ



'95 スポレク 町田市



'95 市民大会



'05 室内選手権大会



'07 少年大会

第27回 三鷹市 室内水泳選手権大会

3月23日(日) 午前9時～午後5時

三鷹市第2体育館屋内プール

午前の部(小学生) 受付 8時40分より
午後の部(中学生・高校生・一般) 受付 12時40分より

参加資格: 三鷹市在住、在勤、在校生
参加費: 小・中学生・高校生: 無料(ジュニア育成地域推進事業により) 一般: 800円/人

君こそ主役だ! 2013東京国体

TOKYO NATIONAL SPORTS FESTIVAL 2013

三鷹市水泳連盟はジュニア育成地域推進事業に参加しています。

申込方法 1) 三鷹市体育協会事務局(第一体育館内)へ所定の申し込み用紙に記入して申し込む。
(10時～17時、月曜日休み)
2) ファックスによる申込み。FAX: 43-2500(体協)

※参加費は大会当日受付にて徴収します。

受付期間 2月24日(日)～3月1日(土) 正午まで。
問い合わせ 大塚まで Tel. 44-2869 又は、三鷹市体育協会事務局 Tel. 43-2500

主催 三鷹市水泳連盟
後援 東京都体育協会・三鷹市体育協会・三鷹市教育委員会



'08 少年大会



みずとり 練習風景



'041212 着衣水泳



ちびっ子水遊び教室



'88 伊東喜久雄 氏



'83 一泊研修・交流会



'88 30周年記念の集い



'90 一泊交流会



'87 一泊交流会



GS部 水上運動会



'08 新Tシャツ



GS部 遠足の大会



横浜・八景島シーパラダイス



Jr部合宿 土肥海岸



浮き島からの飛び込み



卒業記念写真



スイカ割り

水 し ぶ き

－三鷹市水泳連盟創立50周年記念誌目次－

〈50年誌の発刊について〉

三鷹市水泳連盟理事長 深谷 壽邦

〈三鷹市水泳連盟創立50周年記念誌目次〉		1
〈あいさつ〉	三鷹市水泳連盟会長 神 忠久	3
〈水泳によるスポーツ振興と交流の50年〉	三 鷹 市 長 清原 慶子	4
〈三鷹市水泳連盟創立50周年祝辞〉	三鷹市体育協会会長 清水 紘子	5
〈三鷹市水泳連盟50年誌によせて〉	三鷹市水泳連盟副会長 菊地 輝男	6
〈三鷹市水泳連盟創立50周年を顧みて〉	三鷹市水泳連盟顧問 井手 昭男	8
	三鷹市水泳連盟顧問 正田 朋子	9
創立50周年記念表彰		10

第1章 三鷹市水泳連盟とのかかわり	会長 神 忠久	11
-------------------	---------	----

第2章 三鷹市水泳連盟年表		14
---------------	--	----

第3章 三鷹市水泳連盟の組織・機構		33
-------------------	--	----

第4章 専門部の現況

(1) 総務部	部長 刈谷 仁	35
(2) 競技部	部長 中村ひとみ	36
(3) 普及指導部	部長 二宮 町子	37
(4) 会計部	部長 田中 秀子	39
(5) 事業管理部	部長 菊地 輝男	41
(6) ジュニア部	部長 菊地 輝男	42
(7) グランド・シニア部	部長 神 忠久	44
(8) 三水連だよりチーム	リーダー 菊地 輝男	45
(9) マスターズチーム	リーダー 竹島 茂子	46
(10) 電脳チーム	リーダー 刈谷 仁	47

第5章 クラブ紹介

(1) 日本無線水泳部	副幹事	後藤 英文	48
(2) M C C〈三鷹コミュニティクラブ〉	会長	釜池 宏	48
(3) 三泳会	会長	中村ひとみ	50
(4) みずとり	会長	田中 秀子	51
(5) 楽水会	会長	二宮 町子	52
(6) かわうそ会	会長	佐藤千代治	54

第6章 三鷹市水泳連盟50年誌によせて

(1) プール仲間	日本無線水泳部	村上 雅彦	55
(2) 三鷹水連・過去・現在・未来 泳いで 泳いでハンセイキ	M C C	柳井 宏夫	56
(3) プールで得たもの・プールが私にくれたもの	M C C	古小路英子	57
(4) プールで得たもの・プールが私にくれたもの	三泳会	中桐 一枝	58
(5) プール仲間	三泳会	須之部立子	59
(6) プール新設に夢をたくして	みずとり	井上 紀子	60
(7) 水泳に出会ってよかった	みずとり	小西多江子	61
(8) 水泳って素晴らしい	楽水会	浅田 栄子	62
(9) 水泳って素晴らしい	楽水会	栗原 敦子	63
(10) プール仲間	かわうそ会	佐藤千代治	64
(11) プール新設に夢を託して	かわうそ会	裊綿ちよ子	65

市民大会・少年大会・室内選手権大会記録一覧	66
-----------------------	----

三鷹市水泳連盟規約	73
-----------	----

創立50周年記念の集い及び実行委員会名簿	81
----------------------	----

編集後記	83
------	----

表紙の題字は土橋伸子（三泳会）さん、
デザインは格地 剛（M C C）氏による。

あ い さ つ

三鷹市水泳連盟会長 神 忠久

三鷹市水泳連盟は本年12月で創立50周年を迎えることが出来ましたことを会員の皆様と共に喜び申し上げます。今日の連盟の繁栄をもたらしたのは、先輩諸氏の地道な努力の積み重ねと共に、三鷹市行政当局のご理解並びに我々の上部団体である三鷹市体育協会のご指導によるものであります。ここに、関係各位に対して心からお礼を申し上げます。

創立時の三鷹市水泳連盟は、企業の水泳部が中心でありました。当然のことながら企業間の対抗試合等競技中心の活動だったようです。この企業主体で競技スポーツ指向の三鷹市水泳連盟の活動も昭和48年に市の屋内プールが出来てからは大きく変わりました。すなわち、会員層が企業の水泳部員から一般市民へと、また、競技指向の水泳から健康指向の水泳、すなわち、社会スポーツとしての水泳へと変わってきました。

屋内プールが出来ると同時に現在活動している自主クラブが次々と誕生しました。この自主クラブの誕生には、市の体育行政に対する施策に寄るところ多大でありました。すなわち、当時の市教委は生涯水泳のための自主クラブの育成に力を注がれ、市主催の初心者水泳教室の終了する度に1つの自主クラブを作らせました。これが所謂「三鷹方式」と言われ、この言葉が全国的な広まりをみせました。

さらに、市教委は、中高齢者の健康維持に主眼に置いた中高齢者水泳教室を他市に先駆けて始め、そのアフターフォローを水泳連盟に託しました。これらがあいまって三鷹市水泳連盟は他市には見られないほどの大きな組織・体制になりました。

また、我々は祝祭日のプール開放について市議会に強く働きかけた結果、市議会議員各派からの理解が得られ、1993年から祝祭日・休日もプールが一般公開されるようになりました。

このように三鷹市水泳連盟は発展の一途をたどってきましたが、近年、水泳の多様化が進み、この波が三鷹市水泳連盟にも押し寄せ、組織の弱体化に繋がる恐れが出てきました。先人の築いてくれたこの組織を守り、さらに発展させていくためには今何をなすべきかが問われようとしています。この50周年を起点に会員の1人ひとりにこのことを考えて頂くことをお願いし挨拶とさせていただきます。

水泳によるスポーツ振興と交流の50年

三鷹市長 清原 慶子

このたび、三鷹市水泳連盟が創立50周年を迎えられ、ここにその記念誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

三鷹市水泳連盟は、昭和33(1958)年に発足されて50年、現在の第7代会長神忠久様につながる歴代会長を中心とする会員の皆様のご努力により、着実な実績を重ねてこられました。現在は7クラブが加盟し、約480名の会員がご活躍されていると伺っています。

特に、平成20年度の活躍は著しく、市町村総合体育大会では2年ぶり5度目の男女揃っての優勝を果たされ、私も大いに感激しました。これは水泳連盟が実施されてきている記録会等を通じた日頃のご精進の賜物だと思います。また、会員の皆様のご活躍により、中高年や一般市民を対象にした水泳講習会を年間通して実施していただいています。さらに、市民体育祭水泳大会、少年水泳大会、室内選手権大会の開催、みたかスポーツフェスティバルの実行委員として活躍していただいています。加えて、指導研究会や市主催のちびっこ水遊び教室などの指導を通して、この50年間、継続的に水泳の普及や市民スポーツの振興に関わっていただけてきましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、水泳連盟が50周年を迎えられた今年は、北京オリンピックでの北島康介選手の平泳ぎ2冠達成という大活躍が、私たちに大きな感動と勇気を与えてくれました。2008年の「三水連だより新年号」では、北島選手が「気をつけたい、このままだと未来の子ども達がこまってしまう」と地球温暖化防止を呼びかけているという話題が紹介されていましたが、洞爺湖の環境サミットと北京オリンピックが開かれた今年であるだけに、あらためてそのメッセージの重さを感じています。水泳連盟の皆様が、スポーツの視点だけでなく、環境や地域社会の視点でご活躍いただくことは、今後さらに重要な意味をもってくると思います。

今後も、三鷹市水泳連盟に関わる皆様がお元気にご活躍され、これまで育んでこられた歴史と伝統を守りつつ、新しい時代にマッチした事業を展開され、三鷹市の市民スポーツの推進役としてますますご活躍されることを期待しています。

結びに、貴連盟の益々のご発展と皆様のご健闘を心からお祈りいたします。

三鷹市水泳連盟創立50周年祝辞

三鷹市体育協会会長 清水 紘子

このたび、三鷹市水泳連盟が創立50周年をむかえられますとのこと、まことにおめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

御会は、昭和33年に設立され、同35年に三鷹市体育協会に加盟されました。当初は市内の企業の水泳部のかたがたが中心でしたが、現在では市民の自主クラブが中心で、会員数も三倍増近くに成長されたと伺っております。

30年ほど前、市民スポーツを発展させる方法として「三鷹方式」が日本全国で合言葉になりました。第二体育館のガラス越しに、プールで泳いでいらっしゃる老若男女、たくさんの皆さまがたの姿を拝見するたびに、御会はちょうどその模範なのではないだろうかと感じております。このような発展をここまで支えてこられた歴代の会長はじめ会員の皆さまがたのご尽力に敬意を表したいと存じます。

また、いっぽう、三鷹市体育協会の運営におきましては、当初から数多くの役員をお送り下さり、ご尽力いただいて参りましたし、他方、対外競技におきましては、東京都市町村総合体育大会の場合のように、御会は「市民スポーツの三鷹」の原動力として目覚ましい活躍をしてこられました。これらにつきまして三鷹市体育協会を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

変化が激しい今の時代に、50年、半世紀間、発展・活躍し続けるのは大変なことで、それだけでも立派なことでございます。しかし、また反面、昨年三鷹市体育協会50周年の時にも申しましたが、今日の長寿社会では50歳はまだ発展途上の歳でございます。

御会におかれましては、50周年を機に「新たなご発展」の第一歩を踏み出されることを祈念申し上げ、あわせて、三鷹市体育協会にいつそうのご協力をたまわりますようお願いをいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

三鷹市水泳連盟創立50年誌によせて

三鷹市水泳連盟副会長 菊地 輝男

三鷹市水泳連盟は昭和33年(1958年)に発足し、3年後の昭和36年(1961年)に三鷹市体育協会に加盟しました。当初は企業や公務員、ICU の学生などが主な構成員でした。

昭和48年(1973年)に三鷹市屋内プールが完成してからは、いわゆる「三鷹方式」によって自主クラブが続々と誕生しました。

それから10年程経った頃、故・伊東喜久雄会長のご尽力により、ジュニア部やグラウンドシニア(GS)部も立ち上げられて現在の連盟の形が出来上がりました。

次第にその活動範囲も広がり、各種泳法講習会や市町村大会、武三大会、少年大会、市民大会、記録会、室内選手権大会などの他、交流研修会、一泊交流会、指導研修会などが行われました。また指導員資格や競技役員資格の講習会を三鷹で行ったこともあります。

この頃(S59年)、旧東京都体育館で行われた第1回JAPAN MASTERSには25名が参加し昭和61年(1961年)に代々木オリンピックプールで開催された第1回世界マスターズにも32名ほどが参加しています。国立の短水路マスターズや都下の市町村記録会に大挙してバスで行った頃がなつかく思い出されます。

これらと平行してほとんど自然発生的に機関誌「三水連だより」の発行や現在のホームページ開設にもつながりました。

その当時から二十数年経ち社会の構造的変化によるところも多く、三鷹市水泳連盟にも高齢化の波が着実に押し寄せています。

詳しく統計を取ったわけではないのですが会員の平均年齢は年々上がっています。しかも、専業主婦は極端に少なくなり、一時は入会待ちもあった午前のクラブなどは会員募集に躍起になっています。

男性もこのゆとりなき日本社会では派遣社員ならずとも、残業と過労の日々をやり過ごしメタボを嘆いているだけで、とても水泳を始めたりするような状況ではありません。

今年はオリンピックでの北島康介選手の活躍もあって少しは期待しているのですが、せっかく泳ぎを覚えた小学生も塾通いの他、野球やサッカー、ゴルフなどのス

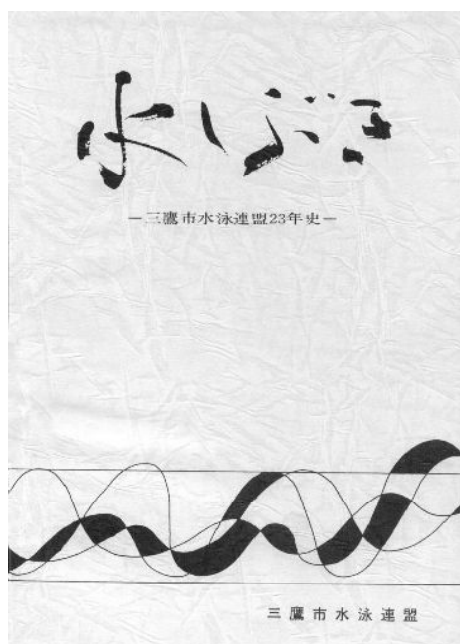
ポーツに流れる傾向にあって若い年齢層にも余り期待できません。

この行き詰まりの状況を少しでも改善できるような特効薬は「新しいプール」しかありません。この観点からも新プールの早期完成を希望いたします。

2007年度から三鷹市水泳連盟も「ジュニア育成地域推進事業」に参加しています。2013年の東京多摩国体の選手育成を主な目的とした東京都体育協会の事業です。

高校生以下の選手を対象に、その育成強化を目的とした講習会などが多いようですが、当水泳連盟では3下旬に開催されている三鷹市室内水泳選手権大会をこれに充てています。

これにより、国体やオリンピック選手の輩出も大いに期待していますが、80周年、100周年と三鷹市水泳連盟を担う人材が育つことを願っております。



三鷹市水泳連盟創立50周年を顧みて

三鷹市水泳連盟顧問 井手昭男

三鷹市水泳連盟は、今年で50年の記念すべき年を迎えた。

この50年の様々な活動の成果はそれなりの浮沈があったといえますが、大いなる評価をされるべきであります。このことは、会員の営々たる努力のたまものであります。

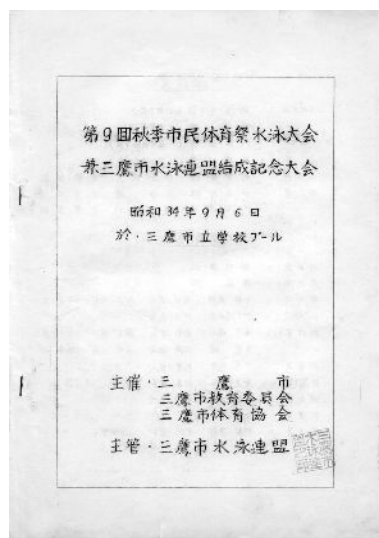
それらはこの半世紀の星霜を経て、貴重な財産として貯えられていると言えましょう。今日のように三鷹市水泳連盟が充実し、その実績を上げていることは、まさに、この連盟に集う会員一人ひとりの、水泳に対する熱意と連帯感が結集されてきたことであるといえましょう。

今や、スポーツとしての水泳も、少子・高齢化社会により急速な変化の時にありますが、泳ぎたい、泳げるようになりたい、自分の泳力をたしかめたいなど、とさまざまであります。

一方、スポーツ志向もまた多様化していることも事実です。

このときに、三鷹市水泳連盟は、水泳を生涯スポーツとして位置づけ、「健康・エンジョイ水泳」を志向し、強固でかつ堅実な活動を図っていくべきだと思います。

三鷹市水泳連盟は、創立50年というこの大きな節目を、さらに新しいスタートとして、その歴史から深く学び、これまで築かれてきた伝統を継続して、さらに前進するよう願ってやみません。



市民体育祭水泳大会兼
三鷹市水泳連盟結成
記念大会のプログラム

三鷹市水泳連盟創立50周年を顧みて

三鷹市水泳連盟顧問 正田 朋子

三鷹市水泳連盟に関わってから早33年。

2年前まで目が廻るような毎日を過ごしていたのが信じられない今日この頃です。

副会長を辞して、顧問の役職をいただいたものの体調をくずし、何もお手伝い出来ないまま50周年を迎えるのが残念です。

40周年誌にあれこれ振り返って書かせていただいたので、筆に詰まります。

いちばんかかわりが深かったジュニア部に触れてみます。

1981年、子供たちの長期水泳教室がはじまりました。三鷹市水泳連盟主催で行われた水泳指導員養成講習会で資格を取得したばかりの新米専任コーチ5名（竹島・福富・土橋・伊東・正田）は、思考錯誤しながらの指導案作りでした。

週1回の練習、それに遠足、合宿、水上運動会と行事が増えていきました。合宿では数々の出来事があり、思い出しては苦笑したりニヤリとしたりです。

合宿のメインは遠泳です。合宿が始まって以来、途切れることなく続いています。以前に比べると距離は短くなりましたが、千葉・富浦の海で始まり、外房、そして伊豆の下田、現在の西伊豆・土肥でこどもとコーチ達は頑張っています。プール育ちのこどもたちを、海で列を作って泳がせるのは大変な作業です。6月、7月のプールでの基礎練習は欠かせないものです。

私も同じプール育ち。海での恐怖感を、鏡ヶ浦の4キロ遠泳を何回か体験してふっきました。そのおかげで、スキューバダイビングの世界も知り、幸せです。

話がそれてしまいましたが、親子2代ジュニア部の部員が何名かいます。歳月の過ぎるのは早いですね。新米コーチからはじまり、副部長、部長とジュニア部と歩めたことを感謝します。

50周年を期に、新たな三鷹市水泳連盟の発展を期待しています。



創立50周年記念表彰

◆ 特別功労賞

井手 昭男 殿 (三鷹市水泳連盟顧問)
 神 忠久 殿 (三鷹市水泳連盟会長)
 正田 朋子 殿 (三鷹市水泳連盟顧問)

三鷹市水泳連盟創立50周年にあたり、記念式典にて上記3名の方の永年の功績を讃え、記念品を添えて特別功労賞を贈ることを理事会において決定した。

◆ 表彰者の横顔 (敬称 略)

いであきお
井手 昭男 1975年 登録
 1976年 競技部長
 1979年～ 理事長兼競技部長
 1980年 理事長
 1981年～ 副会長兼競技部長
 1984年～ 副会長
 1991年～ 会長
 1996年～ 顧問



1932年10月生 長崎県出身

じんただひさ
神 忠久 1974年 登録
 1977年～ 総務部長
 1981年～ 理事長兼総務部長
 1984年～ 理事長
 1991年～ 副会長・Jr部長・GS部長
 1996年～ 会長・GS部長



1936年4月生 青森県出身

まさだともこ
正田 朋子 1975年 登録
 1977・78年 会計部長
 1991～94 理事長
 1996年～ 副会長・Jr部長
 2007年～ 顧問



1936年10月生 岩手県出身

第1章 三鷹市水泳連盟とのかかわり

会長 神 忠久

本年12月1日をもって、三鷹市水泳連盟は50周年を迎えるが、小生はこの内32年間連盟に関わってきた。以下に、この32年間の中で思い出に残るもの幾つかを紹介する。

屋内プールの出来た1973年（昭和48年）頃の三鷹市水泳連盟は、公認指導員・競技役員の数及び組織力とも弱体そのものであった。その連盟を公認指導員・競技役員の数、組織力とも日本一と言われるまでに仕上げたのが伊東喜久雄元会長でした。彼は東京都水泳協会に働きかけ、公認指導員養成講習会と検定並びに公認競技役員養成講習会の2つを東京都区以外では初めて三鷹で開催して貰い、多くの日本水泳連盟公認指導員と競技役員を誕生させた。また、社会体育としての組織のあり方についても情熱を注がれ、三鷹市水泳連盟の組織力の充実を図った。三鷹市水泳連盟の組織、公認指導員等は最大時には、

会員数 1,260名 （1993年）

文部科学省公認水泳指導員数 88名（1996年）

日本水泳連盟公認競技役員数 103名（1995年）

までになった。

このような組織は一夜にして出来たわけではない。小生、1976年（昭和51年）から三鷹市水泳連盟の理事会メンバーになったが、即、総務部長を命じられた。1978年（昭和53年）3月、連盟の総会案内状を三鷹市体育協会事務局に持って行ったところ、居合わせた副会長から「水連さんも総会を開けるようになったかね。」と言われ愕然とした。後で聞いたところによると三鷹市水泳連盟はまとまりのないことでは三鷹市体育協会加盟傘下23団体の中でワースト3に入るとのことでした。

まず、総務部長として毎月開かれる理事会での議事録の作成と次回の会議での議事録の確認をすることから始めた。ところが、古い理事さんから「そんなことを発言した覚えがない削除せよ。」と言われた。「それじゃ録音したものを聞かせましょうか」と言ったらしぶしぶ引き下がった。このとき体育協会で行われているワースト3の意味が納得できた。

一部の会員から理事会でどんなことを話し合っているのか議事録を見せて欲しいと言われた。各クラブから3名の理事が出ているのに理事会の結果が会員には伝わっていないことが分かり、三鷹市水泳連盟の機関誌発行の必要性を強く感じた。直ちに、総務部（小生当時総務部長）で手書きの機関誌「三水連だより」の発行に取りかかった。1面には機関誌としての内容を、2面には会員からの投稿記事（文集）とし、月1回の発行を目指した。

第1号は1981年（昭和56年）6月4日に発行し、本年9月で第162号に達した。なお、発行間隔は、その後隔月になり、更に最近季刊となった。又、版下は当初の手書きからワープロ打ちをしたものを台紙に貼り付けたものになり、更にパソコンにより編集したものへと変遷し現在に至っている。ただ、会員からは「三水連だより」の1面2面とも会員からの投稿記事（文集）にした方がよいとの意見を時々聞く。機関誌としての性格が理解されていないようで残念なことである。

屋内プールが出来て10年経った1982年（昭和57年）頃には、三鷹市水泳連盟の運営はほとんど屋内プールが出来た後に結成された自主クラブの役員により行われるようになり、連盟の創立に関わった人達も少なくなってきた。いまのうちに、この人達に連盟発足時の状況及び屋内プールの出来るまでの経過を思い出して貰い、三鷹市水泳連盟のこれまでの歴史を編纂しなくてはと強く感じ、年史の編纂を理事会に強引に諮った。こうして出来た「水しぶき—三鷹市水泳連盟23年史—」が1982年（昭和57年）2月に発刊された。23年史とは何とも締まらないタイトルではあったが、発案者であり、又当時連盟の理事長であった小生は必死で資料を集め編纂にあたった。

1992年（平成4年）11月、「せっかくの祝祭日にプールがないのは困る。」との声におされ、会員の皆様にお願ひし、2,642名の署名を集めた。さらに市議会議員各会派の代表者と会い祝祭日のプール開放についての理解を求めた上、市議会に誓願を提出した。これが市議会で採択され1993年（平成5年）7月から祝祭日もプールが一般公開されるようになった。署名を集めるのにがんばって頂いた会員の皆さんの姿が印象的でした。

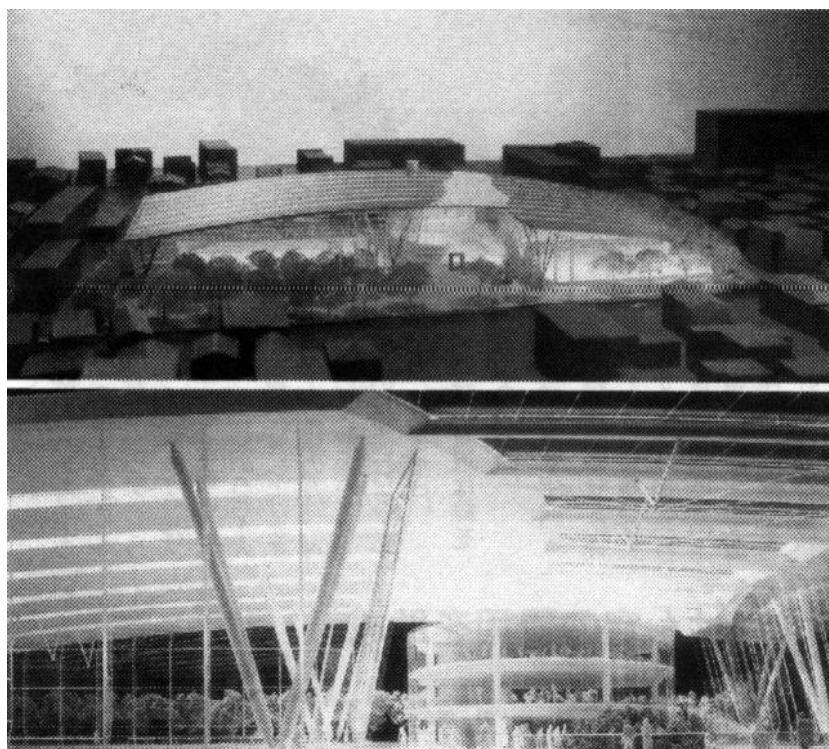
1995年10月に市から「総合スポーツセンター（仮称）」の構想が発表されたのを受けて、連盟以外の人にも声をかけて「総合スポーツセンターを考える会」（小生会長）を創設した。1997年5月、水泳連盟からの6項目からなる要望書をこの会を通じて市に提出した。また、考える会での会議の内容は、逐次、月例の連盟の理事会及び「三水連だより」により会員にお知らせした。残念なことに、2,000年の竣工に向

けて1998年4月から工事が着工されるはずだった計画が、着工2ヶ月前の1998年2月突然延期になった。理由は政府の減税策に伴う市税の減収によるとのことでした。

着工延期が10年も続いた一昨年、三鷹市と調布市との共同による新ゴミ処理施設が2013年に三鷹市役所に隣接した場所に建設される予定のあることが分かった。この施設から出る熱が新屋内プールの熱源として利用可能なので、当連盟は急遽新屋内プールの建設をこのゴミ処理施設に隣接した場所に建設して貰うべく要望書を4,261名の署名と共に2007年2月に市長に提出した。

上記のことからも推察できるように今後、三鷹市水泳連盟として対処が迫られる問題が少なくない。対外的な問題としては①耐用年数の過ぎた現プールに代わる新屋内プールの建設促進の働きかけ②新屋内プール建設後の連盟としての利用方法についての市教委との調整、また内部的な問題としては連盟各クラブ間の連携の強化と結束等が上げられる。

しかし、小生水泳連盟に関わってから総務部長4年、理事長10年、副会長5年、会長13年、計32年間の長きにわたる。これらの問題の解決は次の世代に期待したい。



1995年発表の基本構想案

第2章 三鷹市水泳連盟年表

1958＜昭和33年＞

12月 ○三鷹市水泳連盟発足（12/1）

会 長 増野 恒夫氏（日本無線）

副会長 白石 武夫氏（富士重工）

〃 高橋 和敏氏（I C U）

理事長 斉藤 博氏（富士重工）

1）団体会員 I C U水泳班 42名

日本無線水泳部 31名

富士重工水泳部 97名

2）個人会員 17名（内、小中学生11名）

1959＜昭和34年＞

8月 ○市教委主催水泳教室へ指導員を派遣

9月 ○市民体育祭スポーツ大会水泳競技（9/6）を連盟主管で開催、以後毎年市民大会を主管 三鷹市立第4中学校プール

12月 ○第1回三鷹市水泳連盟総会（12/8） 富士重工会議室

1960＜昭和35年＞

3月 会 長 真島 鉄柱氏（日本無線）

副会長 白石 武夫氏（富士重工）

〃 高橋 和敏氏（I C U）

理事長 矢ヶ崎金蔵氏（日本無線）

6月 ○都民水泳大会に選手11名参加

8月 ○第1回武蔵野・三鷹水泳大会（8/21） 富士重工プール

1961＜昭和36年＞

3月 会 長 真島 鉄柱氏（日本無線）

副会長 白石 武夫氏（富士重工）

〃 丹羽 芳雄氏（I C U）

理事長 矢ヶ崎金蔵氏（日本無線）

4月 ○三鷹市体育協会へ加盟（4/1）

6月 ○山水電気加盟（6/23）

1962＜昭和37年＞

3月 会 長 白石 武夫氏（富士重工）

副会長 真島 鉄柱氏（日本無線）

〃 丹羽 芳雄氏 (I C U)
理事長 稲葉久良人氏 (日本無線)

1964<昭和39年>

3月 会長 真島 鉄柱氏 (日本無線)
副会長 野川 良彦氏 (富士重工)
〃 安藤 孔三氏 (山水電気)
理事長 矢ヶ崎金蔵氏 (日本無線)

1966<昭和41年>

3月 会長 真島 鉄柱氏 (日本無線)
理事長 矢ヶ崎金蔵氏 (日本無線)

1972<昭和47年>

3月 会長 真島 鉄柱氏 (日本無線)
副会長 吉田 茂氏 (富士重工)
理事長 矢ヶ崎金蔵氏 (日本無線)

1973<昭和48年>

3月 会長 真島 鉄柱氏 (日本無線)
理事長 矢ヶ崎金蔵氏 (日本無線)
6月 ○三鷹市スポーツ指導員制度発足 (6/15)
9月 ○屋内プール落成 (9/16)

1974<昭和49年>

5月 ○第1回三鷹市スポーツ指導員水泳実技検定を実施した。
7月 ○三鷹コミュニティクラブ (M. C. C.) の加盟が7月19日の理事会において承認された。

1975<昭和50年>

3月 ○三鷹水泳友の会(のちの三泳会)の加盟が3月14日の理事会において承認された。
3月 会長 真島 鉄柱氏 (日本無線)
副会長 伊東喜久雄氏 (個人)
4月 理事長 矢ヶ崎金蔵氏 (日本無線)
5月 ○東京都水泳協会に加盟する。
8月 ○都下市町村対抗水泳競技会 青梅市営プール

1976<昭和51年>

1月 ○日本水泳連盟公認第2種指導員養成講習会及び検定が実施された。
4月 ○指導員の研修会を開催 (4/27) 第1体育館
6月 ○泳法講習会 (6/12~7/3夜間) 屋内プール
○日本水泳連盟公認競技役員養成講習会 (6/8、6/15) 福祉会館



○子供水泳講習会（6/20~8/15） 屋内プール

○種目別少年スポーツ大会水泳競技（8/28午前）を主管（以後毎年）屋内プール

1977<昭和52年>

3月 ○みずとり の加盟が3月3日の理事会において承認された。

4月 ○三鷹市水泳連盟規約（改訂）が4月22日の理事会において承認され、施行日を52年4月1日とした。

○若鷹会が加盟した。

5月 ○楽水会、かわうそ会の加盟が5月24日の理事会において承認された。

7月 ○記録会兼都下市町村対抗水泳競技会出場選手選考会（7/24午前） 屋内プール

11月 ○都下水泳協会連合会の発足（11/29）

1978<昭和53年>

2月 ○52年度より評議員による総会とすることが2月2日の理事会で決まった。

6月 ○第1回室内水泳記録会（6/11）

1979<昭和54年>

3月 ○1979年度 会 長 伊東喜久雄氏（個 人）

副会長 矢ヶ崎金蔵氏（日本無線）

顧 問 真島 鉄柱氏（日本無線）

4月 ○理事会にて 理事長 井手 昭男氏（MCC）

4月 ○三鷹市水泳連盟水泳指導教程書の発刊

7月 ○指導法研究会（7/28机上） 第一体育館

1980<昭和55年>

2月 ○トップスイマーとの交流会（2/16） 屋内プール オリンピック候補選手
12名、コーチ3名出席

1981<昭和56年>

2月 ○長期ジュニア水泳講習会を開催した（会員の子息に限定）。

3月 ○1989年度 会 長 伊東喜久雄氏（個 人）

副会長 井手 昭男氏（MCC）

顧 問 真島 鉄柱氏（日本無線）

矢ヶ崎金蔵氏（日本無線）

3月 ○水泳連盟の総会（3/15福祉会館）において「ジュニア部」の新設が決まる。

4月 ○理事会にて 理事長 神 忠久氏（MCC）

○第1回都下水泳協会主催 記録会（3/1） ロンドスイミングスクールプール

5月 ○ジュニア部 長期ジュニア講習会としてスタートした。

6月 ○“三水連だより”第1号を発行全会員に配付（6/4）以後第7号まで毎月発行。

7月 ○三水連のシンボルマーク入りTシャツ出来上がる。

12月 ○三鷹市スポーツ指導員大学①（12/13） 国際基督教大学

1982＜昭和57年＞

2月 ○三鷹市水泳連盟23年史“水しぶき”発刊（2/15）

3月 ○三鷹市スポーツ指導員大学②（3/14） 国際基督教大学

○第1回三鷹市室内水泳選手権大会（3/28午前小・中学生、午後高校・一般）
以後毎年主催

6月 ○一泊研修・交流会（6/19、20…第1回） 国立婦人教育会館（嵐山町）

8月 ○ジュニア部 一泊研修会（8/18、19）箱根

11月 ○プールの使用料値上げと体育施設の有料化実施

○日本スペシャルオリンピック水泳競技全国大会主管（11/14） 屋内プール

1984＜昭和59年＞

3月 ○都下水泳協会主催 交流会（3/25）ロンドスイミングスクールプール

10月 ○ジュニア部遠足（10/21） 相模湖ピクニックランド 91名参加

11月 ○第1回日本マスターズ長水路水泳大会（11/3）東京体育館屋内プールに25名
参加 浅倉憲子さん（個人）がベスト・マスターズ賞に輝く。

1985＜昭和60年＞

3月 ○ジュニア部、G.シニア部を準会員団体として承認

4月 ○白楽会が準会員として承認された。（4/5）

「一泊交流会チーム」をプロジェクトチームとして承認

○三水連G.シニア部発足

5月 ○“三水連だより”第28号（5/10）より写植印刷になる。

1986＜昭和61年＞

3月 ○市屋内プール毎日公開

4月 ○4プロジェクトチームの発足（4/3）

5月 ○“三水連だより”第33号（5/9）よりワープロによる版下作成

7月 ○第1回世界マスターズ大会（7/12～16）代々木リビックプールに32名参加

1987＜昭和62年＞

2月 ○一泊泳ごう会（2/21、22）サイクルスポーツセンター 修善寺温泉 23名参加

3月 ○都下水泳協会主催 研修会（3/1）ロンドスイミングスクールプール

4月 ○プロジェクトチームをスペシャルチームに改称（4/2）

12月 ○下旬より屋内プールは改修工事のため2月半ばまで閉鎖

1988＜昭和63年＞

5月 ○日本マスターズ短水路大会（5/22）NAS国立 22名参加

10月 ○泳法講習会（10/5～11/2午前） 屋内プール 79名参加

○泳法講習会（10/13～11/17夜間） 屋内プール

○指導研究会（10/24 夜間） 屋内プール 40名参加

11月 ○ジュニア部遠足（11/6）東京サマーランド 部員71名、コーチ15名参加

○三鷹市水泳連盟創立30周年記念パーティー（11/25）公会堂別館

会員182名、来賓33名 合計215名参加

○指導研究会／日本泳法（11/28 夜間） 屋内プール 34名参加

12月 ○冬季プール毎日公開

1989＜平成元年＞

3月 ○G.シニア部遠足 東京サマーランド

○第8回三鷹市室内水泳選手権大会（3/26） 屋内プール 延べ541名参加

4月 ○Jr部、G.S.部にマネジャー制を採用

7月 ○水泳連盟 新「Tシャツ」完成（7/6）

○'89日本マスターズ長水路水泳大会（7/13~16）代々木リビッツプール 45名

○一泊研修会（7/22、23） 南房 白浜海岸 72名参加

10月 ○指導研究会／救急法（10/9 夜間） 32名参加

11月 ○第1回東京都マスターズ水泳競技大会（11/12）町田市立室内プール 105名

○水上フェスティバル（11/26） 三水連主管 参加者350名

1990＜平成2年＞

5月 ○全日本マスターズ水泳短水路大会（5/20） N A S 国立 44名参加 三水連
チームはリレー3種目で日本新記録を樹立した。

6月 ○伊東会長に（財）日本水泳連盟より「水泳有功章」が授与される。

7月 ○'90日本マスターズ長水路水泳大会（7/12~15） 代々木リビッツプール 50名
参加、栗田近氏（M C C）が200mバタフライで日本新記録樹立

○一泊交流会（7/21、22） 南房 見物海岸 鳩山荘 85名参加

○子供講習会（7/23~7/27 午前） 屋内プール 95名参加

8月 ○ジュニア部合宿（8/11~13） 西伊豆 松崎町石部 臨海白菊 部員34名、コ
ーチ16名参加

1991＜平成3年＞

1月 ○毎日マスターズロングディスタンス選手権大会（1/15） 池袋 ザ・オアフク
ラブ東京 10名参加

○指導研究会／2種試験の指導 竹島茂子氏（1/14 夜間） 屋内プール

○交流会（1/30 午前） 屋内プール 75名参加

2月 ○上級者特別泳法講習会（2/2~3/2 夜間） 屋内プール

○第3回短水路東京都マスターズ水泳競技大会（2/3）後樂園S.C. 56名参加

○指導研究会／2種試験の指導 竹島茂子氏（2/25 夜間） 屋内プール

3月 ○1991年度 会 長 井手 昭男氏（M.C.C）

副会長 神 忠久氏 (M.C.C.)

顧問 伊東喜久雄氏 (個人)

4月 ○理事会にて 理事長 正田 朋子氏 (三泳会)

5月 ○全日本マスターズ水泳短水路大会 (5/19) N A S 国立 35名参加 三水連
チームはリレー2種目で日本新記録を樹立した。

8月 ○東京都市町村大会 (8/4) 女子; 優勝 男子; 2位

○子供講習会 (8/5~9) 6小プール 81名参加

○ジュニア部合宿 (8/11~13) 内房富山町 岩井海岸

○交流研修会/日本泳法 (8/14 午前) 屋内プール 67名参加

○高山小学校が国民皆泳大会全国優秀校として表彰される。

○交流研修会/競泳とスタート (8/28 午前) 屋内プール 66名参加

9月 ○種目別少年スポーツ大会兼「国民皆泳の日」水泳競技 (9/8) 屋内プール
延べ683名参加 (予選の復活)

1992 <平成4年>

2月 ○みたかファミリークラブの加盟が2月6日の理事会において承認された。

4月 ○屋内プールの利用区分帯が5区分に変更される。

○G.シニア部がA・B2班に分かれる。

○白楽会が理事会において正会員団体に承認された。(4/10)

○三鷹市総合スポーツセンター建設計画案(プールのない案)が提示された。

6月 ○三鷹市体育協会に三鷹市総合スポーツセンターに関する要望書を提出

7月 ○交流研修会/遠泳 (7/13 午前) 屋内プール 88名参加

11月 ○ジュニア部遠足 (11/7) 東京サマーランド 計81名参加

○友愛ピック全国大会 (11/21~22)

1993 <平成5年>

5月 ○交流研修会/ダッシュをつけて (5/24 午前) 屋内プール 98名参加

7月 ○祝祭日及び日曜日夜間もプール開放される

○'93日本マスターズ長水路水泳大会 (7/15~18) 代々木リニッックプール 24名
小野てる子さん (三泳会) が200m平泳ぎで日本新記録樹立

○一泊交流会 (7/17, 18) 南房 見物海岸 館山国民休暇村 81名参加

○子供講習会 (7/24~7/29 午前) 屋内プール 80名参加

9月 ○伊東富美子さん (M.C.C.) に (財) 日本水泳連盟より「水泳有功章」が授与
される。

12月 ○着衣水泳講習会 (12/5 夜間) 104名参加

1994 <平成6年>

1月 ○日本水泳連盟公認競技役員養成講習会 (1/30) 公会堂別館

- 3月 ○第13回三鷹市室内水泳選手権大会(3/27) 屋内プール 延べ721名参加
- 4月 ○交流研修会／不得意泳法をなくそう(4/29 夜間) 屋内プール 73名参加
- 5月 ○交流研修会／不得意泳法をなくそう(5/4 夜間) 屋内プール 42名参加
○交流研修会／スタート・ターン(5/19 午前) 屋内プール 149名参加
- 6月 ○交流研修会／スキndaイビング(6/10 午前) 屋内プール 87名参加
○交流研修会／遠泳(6/25 午前) 屋内プール 111名参加
- 7月 ○'94日本マスターズ長水路水泳大会(7/14~17) 東京辰巳国際水泳場 23名
小野てる子さん(三泳会)が200m平泳ぎで日本新記録樹立
○東京都市町村大会(7/31) 女子；優勝 男子；3位
- 8月 ○第2小学校が国民皆泳大会全国優秀校として表彰される。
- 9月 ○泳法講習会(9/1~27 午前) 水不足のため中止
○水泳連盟 新「Tシャツ」完成

1995<平成7年>

- 4月 ○体育施設の申し込み方法が変わる。
○理事会にて 理事長 福富 好子氏(M.C.C)
- 5月 ○全日本マスターズ水泳短水路大会(5/21) N.A.S国立 40名参加
女子100mメドレーリレー(240才~)で日本記録樹立
- 7月 ○子供講習会(7/25~7/29 午前) 屋内プール 66名参加
○交流研修会／背泳ぎ(7/26 昼) 屋内プール 175名参加
○交流研修会／平泳ぎ(7/28 昼) 屋内プール 145名参加
- 9月 ○第45回市民体育祭スポーツ大会水泳競技(9/24) 延べ687名参加
- 10月 ○三鷹市総合スポーツセンター基本設計案発表される。
○連盟旗 披露
- 12月 ○「総合スポーツセンターについて考える市民の会」発足

1996<平成8年>

- 1月 ○“三水連だより”号外発行(1/15)「総合スポーツセンタ特集」
- 3月 ○1996年度 会長 神 忠久氏(M.C.C)
副会長 正田 朋子氏(三泳会)
顧問 伊東喜久雄氏(個人)、井手 昭男氏(M.C.C)
- 4月 ○理事会にて 理事長 福富 好子氏(M.C.C)
○元会長 伊東喜久雄氏 ご逝去(4/21)
○少年大会、市民大会に「伊東喜久雄賞」を創設
○水泳連盟記録会兼都下大会選手選考会(6/9 午前) 屋内プール 延べ名参加
○交流研修会／日本泳法(6/23 夜間) 屋内プール 56名参加
- 7月 ○'96日本マスターズ長水路水泳大会(7/11~14) 大阪府立なみはやドーム 3名

○子供講習会（7/21~7/26 午前） 屋内プール 80名参加

○交流研修会／ながく泳ごう（7/26 昼） 屋内プール 142名参加

8月 ○第30回東京都市町村総合体育大会水泳競技（8/4）青梅市釜の淵公園プール
選手・役員・応援61名参加 **女子、男子共に優勝**

○指導研究会／机上 ビデオによる4泳法（8/10 夜間）福祉会館 45名参加

10月 ○ジュニア部遠足（10/10）八景島シーパラダイス 計100名参加

1997＜平成9年＞

4月 ○理事会にて 理事長 菊地 輝男氏（かわうそ会）

5月 ○総合スポーツセンターに関する「要望書」を市に提出

5月 ○水泳連盟記録会兼都下大会選手選考会（5/25 午前）屋内プール 延べ221名

6月 ○第13回東京ゆうあいピック水泳競技 主管（6/1）北区 障害者総合スポーツ
センタープール 競技役員68名参加

○G.シニア部遠足（6/4）青梅簡保保養センター 143名参加

7月 ○“三水連だより”第100号発行（7/3）

○交流研修会／クロール（7/23 昼） 屋内プール 167名参加

○指導研究会／スカーリング 柴田義晴氏（9/14 夜間） 59名参加

8月 ○東京都市町村大会（8/3） 女子；優勝 男子；2位

10月 ○指導研究会／机上 中央大学コーチ高橋雄介氏（10/16 夜間） 69名参加

1998＜平成10年＞

2月 ○「総合スポーツセンター」着工延期

○みたかファミリークラブ脱会

3月 ○第17回三鷹市室内水泳選手権大会（3/22） 屋内プール 延べ977名参加

6月 ○三鷹市水泳連盟 ホームページの開設

○G.シニア部遠足（6/10）石和温泉 150名参加

7月 ○一泊交流会（7/17、18）下田 外浦海岸 下田ビューホテル 96名参加

○'98日本マスターズ長水路水泳大会（7/17~20）東京辰巳国際水泳場
16名参加、小野てる子さん（三泳会）が200m平泳ぎで世界新記録樹立

○ジュニア部合宿（7/31~8/2）西伊豆 土肥海岸 部員45名、コーチ13名

○大沢台小学校が国民皆泳大会全国優秀校として表彰される。

11月 ○三鷹市水泳連盟40周年記念式典（11/14）

三鷹市水泳連盟40年史“水しぶき”発行

○市町村水泳記録会 東村山市営プール 選手21名 54種目に参加

1999＜平成11年＞

2月 ○第一回全国知的障害者水泳競技大会 辰巳国際水泳場に競技役員55名参加

3月 ○平成10年度三鷹市水泳連盟総会（3/14）福祉会館

- 第18回三鷹市室内水泳選手権大会(3/21)にパソコンシステムを導入し
大きな成果をおさめた。(大道競技部長を中心に初めてトライしたもの)
- 都下水協実技研修会3/28(日) 高橋伍郎 西東京セントラルスポーツ
- 4月 ○理事会で各理事の担当を任命
- 泳法講習会(4/16～5/14 ②区分5回)
- 5月 ○交流研修会/5/3①区分 参加者86名
- マスターズ短水路大会5/16 NAS国立 参加者41名
- 三鷹市水泳連盟記録会兼都下大会選手選考会5/23日①区分 延べ249名
- 第16回東京ゆうあいピック水泳競技(5/30) 主管 東京都障害者スポーツ
センタープール
- 6月 ○交流研修会6/13②区分「アクアでリフレッシュ」参加者34名
- 泳法講習会(6/15～7/13 ①区分5回)「50歳以上対象の水泳講習会」30名
- 7月 ○ちびっこ水遊び教室 7/10(土)、11(日)
- 一泊交流会(7/16,17) 下田外浦海岸 下田ビューホテル 71名参加
- 子供講習会(7/20～24①区分 5回) 受講者94名
- 交流研修会7/21②区分 「こだわりの背泳ぎ」 参加者122名
- ジュニア部合宿(7/23～25)西伊豆・土肥海岸 部員49名 コーチ12名
- 8月 ○第33回市町村大会(8/1)保谷市屋内プール(短水路) 男女共に優勝
- 交流研修会8/6 ②区分 参加者80名
- 交流研修会8/22 ⑤区分 参加者51名
- 9月 ○泳法講習会(9/2～30①区分5回) 受講者36名
- 三鷹市水上運動会 9/5(日) 参加者 548名 役員68名
- スポーツレクレーションフェスティバル9/5 辰巳国際水泳場
- 種目別少年スポーツ大会・[国民皆泳の日]水泳競技9/19
参加延べ人数 768人(昨年比約200人増)
- 市民体育祭スポーツ大会水泳競技9/26 参加延べ人数 785人
- 10月 ○泳法講習会(10/2～30⑤区分5回) 受講者61名
- 10/8日 小野てる子氏(三泳会)東京都体育功労賞を授与さる
- Jr部遠足
- ウーマンズ・スイム・フェスティバル99 10/2～3 千葉国際水泳場
- 交流研修会10/17⑤区分 参加者46名
- 11月 ○泳法講習会(11/5～12/3①区分5回) 受講者24名
- 第20回都下市町村記録会11/23 参加選手 19名 役員4名
- 指導研究会11/28⑤区分 講師 谷尾有希氏
- 々 12/19⑤区分 講師 林 洋子氏 参加者63名

12月 ○12/21 Jr部水上運動会 参加者 120名

2000<平成12年>

1月 ○指導研究会1/16⑤区分 講師 林 洋子氏 参加者 58名

○市スポーツ指導員養成講習・研修会 1/19, 26, 29いずれも夜

○都下水協実技研修会 西東京セントラルスポーツ

2月 ○指導研究会2/11⑤区分 講師 林 洋子氏 参加者 48名

○泳法講習会 (2/12～3/10①区分5回) 受講者 41名

3月 ○FIAマスタース選手権大会3/4, 5 千葉国際水泳場 参加者13名

○3/12(日)三鷹市水泳連盟総会

○3/19(日)第19回三鷹市室内水泳選手権大会

4月 ○交流研修会4/7②区分 講師 正田朋子(三) 参加者 32名

○泳法講習会 (4/14～5/12②区分5回) 受講者

○交流研修会4/23⑤区分 講師 長井祐二(か) 参加者32名

5月 ○交流研修会 5/3 ①区分 講師 岩崎昌子(M) 参加者81名

○日本マスタース水泳短水路大会5/14 MYS国立 参加者27名

○GS部遠足5/17 118名参加

○三水連記録会5/28①区分 参加者 延べ166名

6月 ○泳法講習会 (6/10～7/8①区分5回) 受講者39名

○交流研修会6/11⑤区分 講師 森 玲子(楽) 参加者61名

○交流研修会6/25⑤区分 講師 買手屋昌子(外部) 参加者34名

7月 ○ちびっこ水遊び教室7/8(土)、9 (日)

○7/13～16 ジャパンマスタース'00 辰巳国際水泳場 10名参加

○Jr部合宿7/21～23 下田市外浦海岸 部員48名 コーチ12名

○第34回市町村大会 7/23町田市室内プール 男女共に準優勝

○子供講習会7/25～29日①区分5回 受講者 70名

○交流研修会7/28②区分 講師 宮沢みどり 参加者 81名

9月 ○泳法講習会 (9/5～10/3①区分5回) 受講者 62名

○第12回都民生涯スポーツ大会・辰巳 9/3

○種目別少年スポーツ大会・「国民皆泳の日」水泳大会 延べ832人参加

○市民体育祭スポーツ大会水泳競技 延べ801人参加

10月 ○泳法講習会 (10/7～11/4⑤区分5回) 受講者 56名

○ウーマンズ・スイム・フェスティバル10/7, 8 千葉県国際総合水泳場

○指導研究会10/29⑤区分 講師 谷尾有希氏 参加者 39名

11月 ○泳法講習会 (11/2～30①区分5回) 受講者 53名

○第21回都下市町村水泳記録会 選手22名 役員5名 参加

- 指導研究会11/26⑤区分 講師 鈴木晶等氏 参加者 47名
- 指導研究会12/10⑤区分 講師 鈴木晶等氏 参加者 55名

2001 <平成13年>

- 1月 ○指導研究会 1/13 6:45～9:00 講師 河合正治氏 参加者 55名
 - 指導研究会1/24 ヲ 講師 河合正治氏 参加者 65名
 - 市スポーツ指導員養成講習・研修会 1/25, 27日 いずれも夜
 - 都下実技研修会 西東京セントラルスポーツ
- 2月 ○泳法講習会 (2/9～3/9①区分5回) 受講者 27名
 - F I A マスターズ選手権大会3/3, 4 千葉県国際総合水泳場
- 3月 ○三鷹市水泳連盟総会 3/11
 - 第20回三鷹市室内水泳選手権大会
- 4月 ○泳法講習会 (4/4～5/2②区分5回) 受講者 18名
 - 交流研修会 4/22⑤区分 講師 石橋祐子 (三) 参加者 40名
- 5月 ○交流研修会 5/4 ①区分 講師 牧 浩昭 (M) 参加者 40名
 - 2001年日本マスターズ短水路大会5/20 M Y S 国立 参加者 39名
 - 三水連記録会5/27 参加者 88名
- 6月 ○泳法講習会 (6/1～29①区分5回) 受講者 39名
 - 交流研修会 6/10⑤区分 講師 永井義孝 (か) 参加者 39名
- 7月 ○ちびっこ水遊び教室7/7(土), 8(日)
 - ジャパンマスターズ' 01辰巳国際水泳場 参加者 9名
 - 交流研修会 7/13②区分 講師 菊地輝男 (か) 参加者 39名
 - 第35回市町村体育大会水泳競技7/22福生市営プール **女子優勝、男子準優勝**
 - 子供講習会 7/24～28①区分5回 受講者 78名
 - J r 部合宿7/29～31日 西伊豆・土肥海岸 部員54名、コーチ13名
- 8月 ○交流研修会 8/3②区分 講師 岩田盛子(楽)
 - 交流研修会 8/19⑤区分 講師 井上紀子 (み)
- 9月 ○泳法講習会 (9/1～29①区分5回) 受講者 33名
 - 少年大会水泳競技・国民皆泳の日9/23 延べ708名参加
 - 市民体育祭スポーツ大会水泳競技9/30 参加者 238名
- 10月 ○泳法講習会 (10/6～11/3⑤区分5回) 受講者 33名
 - 指導研究会10/28⑤区分 講師 松本弘志氏 参加者 47名
 - J r 部遠足10/21 八景島パラダイス 部員 88名 コーチ 13名
 - 泳法講習会 (10/30～11/27①区分5回) 受講者 31名
- 11月 ○都下市町村室内記録会11/23東村山市民スポーツセンター 参加者15名
 - 指導研究会11/25⑤区分 講師 松本弘志氏 参加者48名

2002<平成14年>

- 1月 ○都下水協実技研修会
○指導研究会1/27⑤区分 講師 谷尾有希氏
- 2月 ○泳法講習会（2/7～3/7①区分5回） 受講者
○第2回町田市マスタース2/17町田市立室内プール 参加者 13名
- 3月 ○3/17 三鷹市水泳連盟総会
○三鷹市室内水泳選手権大会3/24 参加者 354名
- 4月 ○泳法講習会（4/3～31②区分5回） 受講者 12名
○交流研修会 4/29①区分 講師 井手昭男（M） 参加者 41名
- 5月 ○交流研修会 5/3①区分 講師 竹島茂子（個） 参加者 58名
○水連一泊交流会5/12, 13 伊豆・堂ヶ島温泉 参加者 79名
○2002日本マスタース短水路大会5/19 MYS国立 参加者 31名
○三鷹市水泳連盟記録会5/26①区分 参加者
- 6月 ○第19回東京ゆうあいピック水泳大会の主管6/2東京都障害者スポーツセンター
○交流研修会6/9⑤区分 講師 日隈寿江（楽）山口不二子（楽）参加者 31名
○泳法講習会（6/20～7/19①区分5回）受講者
- 7月 ○ちびっこ水遊び教室7/6, 7 盛況裡に終了
○子供講習会7/23～27①区分5回 受講者 78名
○交流研修会7/24②区分 講師 大道 裕（か） 参加者 75名
○交流研修会7/26②区分 講師 沢田真余（三） 参加者 54名
○J r 部合宿7/27～29 西伊豆・土肥海岸 部員45名 コーチ12名
- 8月 ○**第36回市町村体育大会水泳競技 立川市柴崎屋内プール 男女とも優勝**
- 9月 ○第14回都民生涯スポーツ大会9/1辰巳国際水泳場 参加者
○泳法講習会（9/6～10/4①区分5回 受講者 45名
○種目別少年大会水泳競技・国民皆泳の日9/22 延べ参加者数645名
○市民体育祭スポーツ大会水泳競技 9/29 参加者 254名
- 10月 ○泳法講習会（10/5～11/2①区分5回） 受講者 21名
○みたかスポーツフェスティバル10/14屋内プール 大盛況に開催
○指導研究会10/20⑤区分 講師 吉池秀之氏 参加者 37名
○指導研究会10/27⑤区分 講師 吉池秀之氏 参加者 48名
- 11月 ○泳法講習会（11/2～30⑤区分5回） 受講者 22名
○日本マスタース長距離大会11/2町田市立室内プール
○指導研究会11/3⑤区分 講師 吉池秀之氏 参加者 57名
○都下水協記録会11/23 東村山市民スポーツセンター 役員5名 選手14名参加
- 12月 ○交流研修会12/1⑤区分 屋内プール 着衣水泳 講師 一戸伸代 参加33名

○都下実技研修会12/8 東久留米市民プール 講師 田中義懸氏

2003 <平成15年>

- 1月 ○指導研究会1/26⑤区分 講師 谷尾有希氏 アクア 参加者 17名
- 2月 ○指導研究会2/2⑤区分 講師 吉池秀之氏 参加者 35名
○泳法講習会(2/4~3/4①区分5回) 受講者 30名
○町田市マスタース2/16 町田市市立室内プール 参加者 8名
- 3月 ○F I A マスタース3/1~2 千葉国際水泳場
○三鷹市水泳連盟総会
○第22回三鷹市室内水泳選手権大会3/22 初の全自動タッチ版を経験 295名
- 4月 ○泳法講習会①(4/2~30②区分5回) 受講者 13名
- 5月 ○交流研修会①5/2②区分 講師 井手昭男(M) 参加者 56名
○交流研修会②5/9②区分 講師 上村結花(三) 参加者 45名
○健康アクアビクス教室5/23~6/27②区分6回
○三水連室内記録会5/18①区分 参加者64名
○日本マスタース短水路大会5/25コナミスポーツクラブ新座館 参加者 25名
- 6月 ○泳法講習会②(6/3~7/1①区分5回)
- 7月 ○ちびっこ水遊び教室7/5,6 大盛況で無事終了
○一泊交流会7/18,19 伊豆堂ヶ島温泉 参加者
○ジャパンマスタース03辰巳7/18~21辰巳国際水泳場 女子 3名 男子1名
○第37回市町村総合体育大会水泳競技7/27三鷹市室内プールで主管開催した
多くの選手が競技役員も兼ねつつ夫々に活躍 女子優勝、男子は僅差の4位
○子供講習会7/29~8/2①区分5回 受講者 40名
○J r 部合宿7/31~8/2 西伊豆土肥海岸 部員 45名 コーチ 13名
○交流研修会③7/30②区分 講師 浅羽和子(楽)
- 8月 ○交流研修会④8/1②区分 講師 市場あい子(楽)
○交流研修会⑤8/8②区分 講師 服部三恵子(み)
○交流研修会⑥8/22②区分 講師 永井義孝(か)
○指導研究会①8/31⑤区分 講師 坂田力丸氏 参加者 64名
- 9月 ○泳法講習会③(9/4~10/2①区分5回) 受講者 44名
○第15回都民生涯スポーツ大会9/7 辰巳国際水泳場
○市民体育祭スポーツ大会水泳競技9/28 参加者
○種目別少年スポーツ大会水泳競技・国民皆泳の日9/21 延べ参加者数
○指導研究会②9/14⑤区分 講師 坂田力丸氏
- 10月 ○泳法講習会④(10/3~31①区分5回) 受講者 39名
○指導研究会③10/9⑤区分 講師 谷尾有希氏(アクア) 参加者 35名

- 指導研究会④10/26⑤区分 講師 坂田力丸氏 参加者 49名
- 三鷹市スポーツフェスティバル10/13プール会場でサポーターとして多数参加
- 11月 ○日本マスターズ水泳長距離大会11/1 町田市室内プール
- 泳法講習会⑤（11/1～29⑤区分5回） 受講者 26名
- 指導研究会⑤11/2⑤区分 講師 坂田力丸氏 参加者 51名
- 第23回都下水協室内記録会11/24 東村山市民スポーツセンター 計15名参加

2004<平成16年>

- 1月 ○市スポーツ指導員養成講習会・研修会1/20, 24, 26の3日間開催された
- 2月 ○泳法講習会⑥（2/7～3/6①区分5回） 受講者 27名
- 町田市マスターズ2/15町田市立室内プール 参加者 7名
- 都下水協実技研修会2/29 小金井市総合体育館プール 講師 田中義懸氏
- 3月 ○三鷹市室内水泳選手権大会3/28市屋内プール 参加選手338名
- 4月 ○今年度から一泊交流会を当分の間休止。
- 泳法講習会①（4/7～5/12①区分5回） 受講者 11名
- 04日本マスターズ短水路大会4/29 辰巳国際水泳場 女子19名 男子8名
- 交流研修会①4/30②区分 講師 八木 香氏（アクアディレクター） 57名
- 5月 ○交流研修会②5/5 ①区分 講師 田山豊子（み） 参加者 52名
- 泳法講習会②（5/13～6/10①区分5回） 受講者 18名
- 水連記録会/兼市町村大会選手選考会5/23 屋内プール
- 6月 ○泳法講習会③（6/5～7/3①区分5回） 受講者
- 交流研修会③6/27⑤区分 講師 格地 剛（M） 参加者 37名
- 7月 ○チビッ子水遊び教室 7/3, 4
- 交流研修会④7/18⑤区分 講師 榛澤貞茂（か） 参加者 28名
- ジャパンマスターズ04 7/16～19 辰巳国際水泳場 女子3名 男子1名
- 子供講習会7/21～25①区分 受講者 66名
- J r 部合宿7/24～26 西伊豆土肥海岸 部員 51名 コーチ 14名
- 交流研修会⑤7/30②区分 講師 須山ふみ子（楽） 参加者 49名
- 8月 ○第38回市町村総合体育大会8/1小平市萩山公園プール 女子4連覇、男子5位
- 指導研究会①8/29⑤区分 講師 参加者 22名
- 泳法講習会④（8/31～9/28①区分5回） 受講者 29名
- 9月 ○第16回都民生涯スポーツ大会9/5 辰巳国際水泳場 参加者 13名
- 指導研究会②9/12⑤区分 講師 坂田力丸氏 参加者 41名
- 種目別少年スポーツ大会水泳・国民皆泳の日9/19 延べ参加人数 839名
- 市民体育祭スポーツ大会水泳9/26 参加者 278名
- 10月 ○泳法講習会⑤（10/2～30⑤区分5回） 受講者 20名

- 指導研究会③10/3⑤区分 講師 参加者 40名
- みたかスポーツフェスティバル10/11プール会場での各種お手伝いに多数参加
- 第8回千葉マスタース10/23, 24千葉国際水泳場 8名参加
- 11月 ○指導研究会④11/3⑤区分 講師 坂田力丸氏 参加者 49名
- 指導研究会（机上）11/14 講師 河合正治氏 映像「北島康介」解析、69名
- 指導研究会⑤11/21⑤区分 講師 坂田力丸氏 参加者 51名
- 都下水協市町村記録会11/23 東村山市民スポーツセンタープール 計14名参加
- 12月 ○都下水協水泳実技研修会12/12 小金井市総合体育館プール 50名参加

2005 <平成17年>

- 2月 ○泳法講習会⑥（2/4～①区分5回） 受講者 42名
- 3月 ○三鷹市水泳連盟総会3/13福祉会館
- 第24回三鷹市室内水泳選手権大会3/27 参加選手 331名 大会新 計47
- 4月 ○泳法講習会；各クラブがコース貸し
- 泳法講習会①（4/6～②区分5回） 受講者 5名
- 5月 ○泳法講習会②（5/6～①区分5回） 受講者 18名
- 05日本マスタース水泳短水路大会5/15 江戸川区温水プール 女子17、男子2
- 交流研修会①5/20②区分 講師 工藤宏子、土村久美子（楽） 参加者33名
- 三水連記録会・市町村大会選手選考会5/22
- 6月 ○交流研修会②6/26⑤区分 講師 藤川未知子（M）、寺上きよみ（三）
小野てる子（三）、小林フミ（か） 参加者 22名
- 7月 ○ちびっ子水遊び教室7/2, 3
- 指導研究会①7/17⑤区分 講師
- 第39回市町村総合体育大会7/24町田市立室内プール **女子5連覇**、男子4位
- 子供講習会7/26～30①区分 5回 受講者 82名
- 交流研修会③7/27②区分 講師 6/26開催と同じ 参加者 49名
- 交流研修会④7/29②区分 講師 工藤宏子他5名 参加者 20名
- J r 部合宿7/31～8/2 西伊豆土肥海岸 部員 48名 コーチ 14名
- 8月 ○指導研究会②8/28⑤区分 講師 参加者37名
- 9月 ○泳法講習会③（9/3～①区分5回） 受講者 20名
- 都民生涯スポーツ大会水泳9/4 辰巳国際水泳場
- 種目別少年スポーツ大会水泳・国民皆泳の日9/18 参加延べ人数 945人
- 市民体育祭スポーツ大会水泳競技9/25 参加者291名
- 10月 ○泳法講習会④（10/1～⑤区分5回） 受講者
- 指導研究会③10/2⑤区分 講師
- みたかスポーツフェスティバル10/10プール会場での各種サポーターを派遣

○指導研究会④10/16⑤区分 講師

11月 ○泳法講習会⑥（11/1～①区分5回） 受講者 11名

○指導研究会(机上) 11/5夜 講師

○都下水協市町村記録会11/23 調布市立屋内プール

12月 ○都下水協実技研修会12/11 羽村市営プール 三水連から25名参加した

○市スポーツ指導員養成講習会・研修会12/18⑤区分 着衣水泳を実習

2006 <平成18年>

1月 ○市スポーツ指導員養成講習会・研修会 1/16, 21, 28に講座が開催された

○泳法講習会⑦（2/2～①区分5回） 受講者 15名

3月 ○三鷹市水泳連盟総会3/12福祉会館

○第25回三鷹市室内水泳選手権大会3/26 参加選手 337名

4月 ○ゴミ処理施設を市庁舎周辺に計画する案が浮上した。

○「ちびっ子水遊び教室」、「ワンポイントアドバイス」、「アクアフィットネス
タイム」が指定管理者制度により市からの受託事業となる。

○Jr部、GS部；会費値上げ

○「三水連だより」季刊（年4回発行）とする。

○「会員名簿」は手作りとする。

○「交流研修会」廃止

○「指導研究会」は回数削減

○GS部遠足；今年度は行わない。

○06日本マスターズ短水路大会4/29辰巳国際水泳場 参加者 14名

○4/1～5/15屋内プール休場・受変電室のアスベスト除去工事のため

5月 ○泳法講習会①（5/17～①区分4回） 受講者 5名

○泳法講習会②（5/27～①区分5回） 子供講習会 受講者 28名

○三水連室内記録会・市町村大会選手選考5/28 参加者 53名

7月 ○ちびっ子水遊び教室7/8, 9

○ジャパンマスターズ'06辰巳国際水泳場 7/14～17 参加者 4名

○**第40回市町村総合体育大会水泳7/23福生市営プール 男女共にアベック優勝**

○子供講習会7/25～29①区分5回 受講者 74名

○Jr部合宿7/30～8/1西伊豆土肥海岸 部員 41名 コーチ 14名

9月 ○泳法講習会③（9/1～①区分5回） 受講者 22名

○都民生涯スポーツ大会水泳9/3 辰巳国際水泳場

○種目別少年スポーツ大会水泳・国民皆泳の日9/17 参加延べ人数 1,003名

○市民体育祭スポーツ大会水泳9/24 参加者 283名

10月 ○泳法講習会④（10/4～②区分4回） 受講者 13名

- 泳法講習会⑤（10/7～⑤区分5回） 親子講習会 受講者 18名
- みたかスポーツフェスティバル10/9プール会場に各種サポーターを派遣
- 指導研究会①10/12⑤区分 講師 谷尾有希氏 参加者 31名
- 11月 ○泳法講習会⑥（11/2～①区分5回） 受講者 16名
- 指導研究会②11/9⑤区分 講師 坂田力丸氏 参加者 39名
- 都下水協室内記録会11/23調布市営プール 役員 5名 選手 30名
- 12月 ○都下水協実技研修会12/10 羽村市営プール 三水連より27名参加

2007＜平成19年＞

- 1月 ○市スポーツ指導員養成講習会・研修会 1/15 20 25 30日開催
- 2月 ○泳法講習会⑦（2/6～①区分5回） 受講者 15名
- 3月 ○市に4,261名の署名を付けてゴミ処理施設とプールに関する「要望書」提出
- 三鷹市水泳連盟総会3/11 福祉会館
- 2007年度 会長 神 忠久氏（MCC）
- 副会長 菊地輝男氏（かわうそ会）
- 顧問 井手昭男氏（MCC）
- 顧問 正田朋子氏（三泳会）
- 第26回三鷹市室内水泳選手権大会3/25屋内プール 参加者 344名
- 参加費値上げ
- 4月 ○理事会 理事長 深谷壽邦氏（MCC）
- 事業管理部発足
- 中高齢泳法講習会；年8回開催
- 中高齢泳法講習会①（4/4～①区分3回） 受講者 3名
- 5月 ○中高齢泳法講習会②（5/2～②区分4回） 受講者 7名
- 泳法講習会 親子&子供講習会
- 三水連室内記録会5/13（市町村大会選手選考）
- 07日本マスターズ短水路大会5/20 江戸川区温水プール
- 6月 ○泳法講習会①（5/12～①区分5回） 受講者 親子 計44名
- 中高齢泳法講習会③（6/6～①区分4回） 受講者 4名
- 7月 ○「ちびっ子水遊び教室」7/7,8日 午前・午後の2班制に
- ジャパンマスターズ07辰巳国際水泳場7/13～16
- 子供講習会7/21～26①区分5回 受講者 78名
- 第41回市町村総合体育大会7/29立川市柴崎公園プール 女子優勝 男子3位
- 8月 ○中高齢泳法講習会④（8/1～②区分4回） 受講者 7名
- 泳法講習会②（8/2～①区分5回） 受講者
- Jr部合宿8/5～7西伊豆土肥海岸 部員 38名 コーチ 14名 計52名

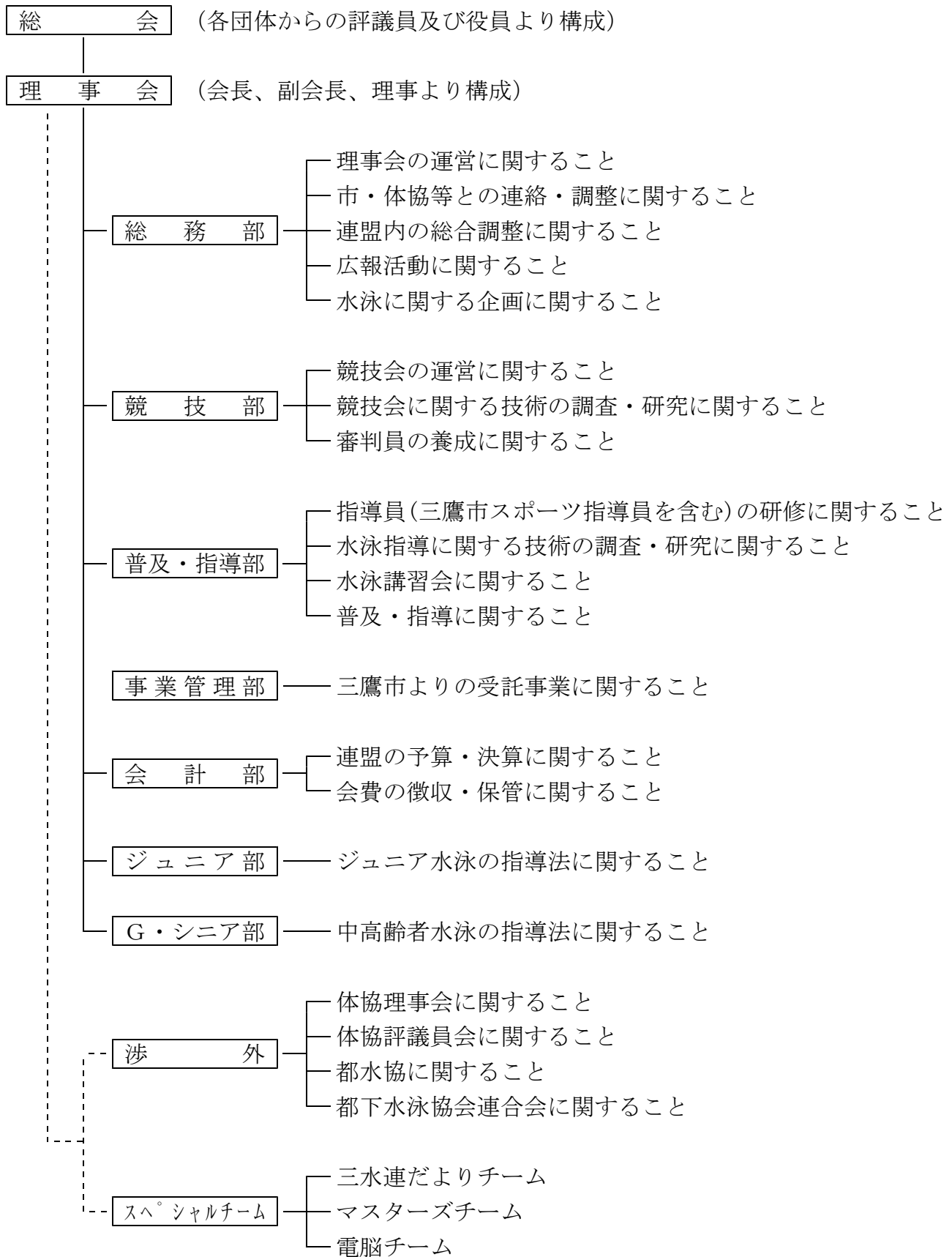
- 9月 ○都民生涯スポーツ大会水泳9/2辰巳国際水泳場 参加者 16名
 ○中高齢泳法講習会⑤（9/5～①区分4回） 受講者 4名
 ○種目別少年スポーツ大会水泳・都学童水泳大会9/23 参加者 356名
 ○市民体育祭スポーツ大会水泳9/30 参加者 351名 （昨年比24%増）
- 10月 ○ウーマンズスイムフェスティバル07横浜国際プール10/6, 7
 ○泳法講習会③&指導研究会10/6, 13, 27⑤区分（3回） 講師 坂 大平氏
 ○みたかスポーツフェスティバル10/8 プール会場での各種サポート要因派遣
 ○中高齢泳法講習会⑥（10/10～②区分4回） 受講者 5名
 ○指導研究会・アクア10/20⑤区分 講師 谷尾有希氏
- 11月 ○泳法講習会④（11/6～①区分5回） 受講者
 ○予算案を各部長が担当する。
 ○中高齢泳法講習会⑦（11/7～①区分4回） 受講者
 ○都下水協市町村記録会11/23 調布市営プール 役員5名 選手20名参加
- 2008<平成20年>
- 9月 ○三鷹市スポーツ指導員養成講習会・研修会 1/15 23 27 2/6に参加
- 2月 ○泳法講習会⑤（2/1～①区分5回） 受講者
 ○新春マスターズSM08 2/16, 17千葉国際水泳場
- 3月 ○中高齢泳法講習会⑧（3/5～②区分4回） 受講者
 ○三鷹市水泳連盟総会3/9福祉会館
 ○第27回三鷹市室内水泳選手権大会3/23屋内プール 参加者 381名
 ジュニア育成地域推進事業の対象となり東京都体育協会より補助金が下りる。
 競技役員に謝金の支払いをする。
- 4月 ○中高齢泳法講習会①（4/2～①区分4回） 受講者
 ○日本マスターズ水泳短水路大会4/29辰巳国際水泳場 参加選手 10名
- 5月 ○泳法講習会①（5/10～①区分5回） 受講者 親子計 39名
 ○三水連室内記録会・市町村大会選手選考5/11
 ○三鷹市水泳連盟旗の完成
- 6月 ○泳法講習会②（6/5～①区分5回） 受講者 11名
 ○中高齢泳法講習会③（6/18～①区分4回） 受講者 8名
- 7月 ○元競技部長（平成10～19年度歴任）**大道 裕氏** ご逝去
 ○泳法講習会③（7/4～①区分5回） 受講者 7名
 ○ちびっ子水遊び教室7/5～6 応募者多く大盛況
 ○ジャパンマスターズ'087/18～21辰巳国際水泳場 参加者
小野てる子（三）200平で日本新記録樹立
 ○子供講習会Ⅰ7/19～24①区分5回 受講者 44名

- 三鷹市水泳連盟Tシャツの完成
- 第42回市町村総合体育大会7/27武蔵野市プール 男女共に優勝 女子8連覇
- 泳法講習会④（7/27～①区分5回） 受講者 5名
- 中高齢泳法講習会④（7/30～②区分4回） 受講者 4名
- 8月 ○J r 部合宿8/3～5 西伊豆土肥海岸 部員 34名 コーチ 14名 計48名
- 子供講習会Ⅱ8/19～23①区分5回 受講者 55名
- 都民生涯スポーツ大会水泳競技(8/31)参加者 19名
- 9月 ○中高齢泳法講習会⑤（9/3～①区分4回） 受講者 7名
- 競技部パソコン購入
- 種目別少年大会水泳兼学童水泳大会9/21 10校、2クラブから 405名参加
- 市民体育祭スポーツ大会水泳9/28 参加選手 325名 大会新 22個
- 10月 ○中高齢泳法講習会⑥（10/1～②区分4回） 受講者
- 泳法講習会⑤&指導研究会 10/4, 11, 25(土)⑤区分 講師 坂 大平氏
- みたかスポーツフェスティバル10/13プール会場に各種サポート要員を派遣
- 指導研究会・アクア10/18⑤区分 講師 井上みどり（み）
- 11月 ○泳法講習会⑥（11/3～①区分5回） 受講者
- 中高齢泳法講習会⑦（11/5～①区分4回） 受講者
- 都下水協市町村室内記録会 11/16 調布市プール
- 三鷹市水泳連盟50周年記念式典並びに祝賀パーティー11/29(土)三鷹産業プラザ
- 三鷹市水泳連盟50年史“水しぶき”発刊
- 招待客、会員、準会員に創立50周年の記念品配付



記念品のステンレスポット

第3章 三鷹市水泳連盟の組織・機構



◆ 主たる変更事項

1) 1977/昭和52年4月1日より三鷹市水泳連盟規約(改訂)の実施に伴い、評議員による総会及び専門部が明確にされた。

2) 各団体からの評議員の定数(1978/昭和53年4月の理事会)

会員数	19名までの団体	評議員数	2名
〃	20名以上29名までの団体	〃	3名
〃	30名以上39名までの団体	〃	4名
〃	40名以上49名までの団体	〃	5名
〃	50名以上の団体	〃	6名

3) 各団体からの理事の定数(1978/昭和53年3月の理事会)

会員数	49名までの団体	理事	2名
〃	50名以上の団体	〃	3名

4) 各団体が納入する会費(1978/昭和53年4月の理事会)

会員数	49名までの団体	会費	500円×会員数
〃	50名以上99名までの団体	〃	30,000円
〃	100名以上の団体	〃	35,000円
個人会員		〃	1,500円

5) 1979/昭和56年4月1日 ジュニア部を新設

6) 1985/昭和60年4月1日 G. シニア部を新設

7) 1986/昭和61年4月1日 4プロジェクトチームを新設、翌年スペシャルチームに改称

8) 1992/平成 4年4月1日 各団体の交流・親睦を図ることを目的とした交流研修会の発足

9) 2000/平成12年4月1日 電脳チーム新設

10) 2004/平成16年4月1日 一泊交流会チーム廃止

11) 2006/平成18年4月1日 交流研修会チーム廃止

12) 2007/平成19年4月1日 事業管理部を新設

第4章 専門部の現況

(1) 総務部

部長 刈谷 仁

総務部の役割

理事会関係：会場手配、報告事項の取りまとめ及び事前配布、議事録作成・配布

競技会関係：競技役員への委嘱状送付、参加要項配布、等の手伝い

総会関係：会場手配、評議員の選定、資料の印刷、総会議事進行、議事録作成

その他：各種会合の開場手配、印刷物の配布等

以上が総務部の年間を通しての業務です。

10年前には総務部で行ってきた仕事はここ何年かは競技部で行われていた関係もあり、各部の役割分担を改めて見直し、確認する必要があると思われる。

今年の総務部は業務内容は大きく変わらないのですがパソコンを利用した報告事項の事前配布や議事録配布など新しい取り組みを行いました。今後もスムーズな運営が出来るように改善を行えたらと考えています。



総会風景

(2) 競技部

部長 中村ひとみ

三鷹市水泳連盟活動の柱である競技会の計画、実行運営を円滑に行っている。
例年、定期的に開催している競技会は次の通り。

大会名称	時期	主催・主管	参加対象
①水泳連盟室内記録会	5月	水連主催	三水連会員
②市町村大会水泳競技	7月	各市持ち回り主管、 都下水協後援	都・市町村民
③市種目別少年大会 兼都学童水泳大会	9月	三鷹市主催、水連主管 都水協後援	市内小学生
④市民体育祭水泳競技会	9月	三鷹市主催、水連主管	在住中高一般
⑤市室内選手権大会	3月	水連主催	小中高・一般

競技会の運営に際しても50年の歴史の中で大きな変遷をしている。

- ・ 競技会の普及活動と選手の育成強化
- ・ 競技規則の普及徹底と競技役員の育成強化
- ・ 競技種目の整備充実
- ・ コンピューターシステム導入による自動化の推進

などについて、夫々の時代に即応して多くの先輩たちの創意工夫と限りない努力によって、ブラッシュアップされている。

中でも、コンピューターシステム導入による自動化、作業性の簡素化は特筆される。10年前、当時新任の大道 裕競技部長が推進の口火を切り、試行錯誤を重ねつつ完成し、大きな功績を挙げた。

大道競技部長はこの10年間、競技部及び水連に大いなる労力・時間を奉仕されたが、年始に病に倒れ不撓不屈の闘病の後、7月にご逝去されました。

異例ではありますが、氏の功績を記憶し記録するために、この紙面をお借りして記述いたします。

(3) 普及指導部

部長 二宮 町子

現在連盟の会員で、公認スポーツ指導者・三鷹市スポーツ指導員108名で、水泳連盟の講習会、市主催の水泳教室、ワンポイント、アクアなどのレッスン、地域からの要請による指導者派遣などの総括や、連盟内部の指導研究会などの事業に当たっています。

① 平成20年度 指導者登録数

クラブ名	M C C	三 泳 会	みずとり	楽 水 会	かわうそ会	日本無線	個 人	計
登録者数	15名	29名	23名	22名	14名	0名	5名	108名

平成20年度 アクア登録者数

クラブ名	M C C	三 泳 会	みずとり	楽 水 会	かわうそ会	日本無線	個 人	計
登録者数	3名	2名	4名	3名	1名	0名	1名	14名

② 平成20年度 講習会（10月末現在）

泳法—2

月日	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3
人数	9名	11名	11名	10名	11

中高齢—3

月日	6/11	6/18	6/25	7/2
人数	8名	7名	8名	6名

泳法—3

月日	7/4	7/11	7/18	7/25	8/1
人数	7名	7名	7名	7名	6名

中高齢—4

月日	7/30	8/6	8/13	8/27
人数	4名	3名	3名	3名

泳法—4

月日	7/27	8/10	8/17	8/24	8/31
人数	4名	5名	5名	3名	4名

中高齢—5

月日	9/3	9/10	9/17	9/24
人数	7名	6名	3名	6名

☆中高齢—2、中高齢—6は、参加人数が集まらなかったために中止になりました。

泳法—1 子供・親子水泳講習会

月日	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7
人数	38名	39名	31名	34名	31名
指導員	6名	6名	6名	6名	6名

月日	7/19	7/20	7/21	7/23	7/24
人数	44名	42名	42名	41名	43名
指導員	8名	8名	8名	8名	8名

月日	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23
人数	49名	55名	56名	48名	48名
指導員	8名	8名	8名	8名	8名

③ 市の教室、ワンポイント、アクア、地域コミュニティーセンターより指導員の
依頼

- 指導者及び指導者を目指す人、指導法に関心ある人の実技講習会を19、20年度と坂大平氏に依頼し、本年度は背泳ぎ・クロールの指導を10月4日、11日、25日の3

回実施。

アクアは井上みどり氏（全米アクアエクササイズ協会認定指導員）に依頼しました。

この指導者研究会は水連加盟者以外、一般の方も募集し、参加していただきました。

今年度から、学校関係が水連を通さない事に成りました。

最近、設備の充実したスポーツクラブが増えたせいか、アクア、ワンポイント、各泳法講習会に参加する人が減って来ています。

（４）会 計 部

部長 田中 秀子

みずとりの会長になるにあたり、当初から私は、普及部長の座をねらっていたのだった。なぜなら、理由は二つ。一つは、前普及部長も前々普及部長もみずとり出身者だったからである。しかもその二人とは仕事も水泳も一緒のことが多いので、気軽にわからないことが聞けてよいなと目論んでいたのだった。もう一つは、水泳のお仕事とは別に普段から会計の仕事をしているので、慣れている半面、たいへんさとまた同じことをするより、違ったこともしてみたいと考えたからだ。

初めての理事会で「普及部長、やりますっ。」っと勢いよく手を上げたのだが、隣で楽水会の二宮さんも手を上げていて、その隣で楽水会の副会長の須山さんが私の目をみつめて「お願いよ。」と。えーっ、困ったと思ったところに神会長が「みずとりは、２年続けて普及部長をしているので今回は、楽水会にしてもらいましょう。」と無情にも言い放ったのである。競技部長はすでに三泳会の中村さんに決まっていたし、残るは、会計部長のみであった。

観念して会計の仕事を始めた。昨年の総会で議決したとおり、今年度の会計は従来とはかなり違った形になっている。大きく違うのが、昨年までは、本会計と特別会計としてのGS部とジュニア部、委託事業の事業管理部といわば３本立ての会計処理が、本会計にもとからある普及指導部、競技部、総務部、会計部に加え、GS部、ジュニア部、事業管理部も組み入れられたことだ。

また、昨年度からだが、今までは、理事長が作成していた予算案を各部長が、作成することになった。たくさんの仕事をこなしている部長たちではあるが、お金の流れをつかむことで仕事の内容や流れも見えてくるのは本当だと思う。

また、勘定科目やその内容も工夫された努力の跡が随所に見られる予算となっていた。

ということで、何をするのも前任の山川会計部長や小林会計副部長に聞いたり、前年の帳簿、今年の予算書、領収書綴り、議事録などを開いたり、閉じたりして上半期が終了して水泳連盟の会計の全体像をやっと理解している今日この頃である。

だいたい、この原稿が締め切り後だから書けるのであるが、今日、深谷理事長と山中会計副部長と上半期の全部と各部の会計報告並びに来年度の予算案作成に繋げるべく 3 者会談をイトーヨーカドーの地下で行った。今年度の予算執行状況、今後の課題（勘定科目の統一、内容の整備、帳簿の整備、間近にせまった 50 周年の収支状況など）を話し合った。やはり、なるべくなら誰でもできるわかり易い形にして次年度につなげたいものだ。

この上半期を過ぎてみて、今年の始めまで水泳連盟のために一生懸命、尽力してくれた大道さんが亡くなって、競技部・電腦チームのことはもちろんのこと総務部、普及指導部、会計の予算書、決算書作成にまで多方面に彼の仕事力が影響していたことを痛切に感じている。その人がいない現実はこの数ヶ月、理事たちは、多少とも右往左往しながら努力してきた。

世の中は 1929 年来の大恐慌にも似た不況である。年金問題、不正、オレオレ詐欺など先行きが不安になる。我が家の不況も気にしなくてはならないが、当面、50 周年を迎えた三鷹水泳連盟の財政をなんとかするべく頑張っていく所存だ。



(5) 事業管理部

部長 菊地 輝男

2006年から指定管理者制度の一環として、三鷹市よりワンポイントレッスンとアクアフィットネスタイム、ちびっ子水遊び教室の管理業務を受託することになりました。

この受け皿として、三鷹市水泳連盟では2007年度から事業管理部を発足させました。

例年7月初旬のプールの水の入れ替え時期に行われていた学齢前のお子さんとその親を対象にした「ちびっ子水遊び教室」は希望者が殺到する状況で昨年からは午前と午後の2部制となりました。

今年もクラスによっては応募者が定員の倍くらいあったとのことでした。

3歳児、4歳児、5・6歳児の3班に分かれ、夫れぞれ定員25組ですから150名弱の親子が午前と午後2日続きで、てんやわんやの大騒ぎと言った状況です。

もちろん水位は30～70cm程で、各組3名ずつの指導者がこれに当たります。3名で25名弱のちびっ子の面倒を見るのは不可能ですが、保護者がマンツーマンで付いていますので何とかやっています。他に用具係や放送担当、ガード担当などを配し各班14名体制で、安全第一を期しています。

ワンポイントアドバイスは従来から市の事業として運営していましたが、年間を通し一般開放の2時間を一単位として25単位を夫れぞれ2名で指導に当たります。

あくまで教室とは違い「ワンポイントアドバイス」なのですが、受ける方の常連も多く、それなりの成果を上げていると思います。

アクアフィットネスタイムも年間を通して25回、一般開放の時間帯に休憩と準備を含めて2時間、水中歩行を初めとした動きをリズムに乗って行っています。

選曲からセッティングまでを一人で行わなければなりません。また屋内プールは普通のアクアフィットネスを行うプールと違って水深があり過ぎてやりにくいようですが、指導者はそれなりにカリキュラムなどに工夫をこらしておこなっているようです。

(6) ジュニア部

部長 菊地 輝男

部員数は9月末現在で158名。ジュニア長期水泳講習会として2年生以上の小学生を対象にした水泳連盟準会員のクラブです。毎週火曜日、午後4時半から6時半までが練習時間ですが火曜日は振替え休日の休館日に当たることが多くGS部に比べると年間練習日がずいぶん少ないのが悩みの種です。

部長、副部長各1名とマネージャ(兼専任コーチ)1名及び専任コーチ5名と、年間登録されている40名以上の“協力コーチ”の中から毎月数人ずつに協力をお願いしています。

1981年に正式に発足してから今年で実に27年になりますので、時には卒業生のお子さんが入部してくることもあります。

毎年3月になると6年生が卒業し、4月には60人程度の新入部員が仲間に入ってきます。

去年から5班制になりましたが“水なれ”から25m泳ぐのも怪しいような、4班AとBをあわせると4月初めには70人以上にもなるから大変です。

毎週の練習の他、主な行事としては2泊3日の海浜合宿、秋の遠足、水上運動会など様々な行事があります。

夏の合宿はしばらく房総の岩井海岸で行うことが多かったのですが、ここ10年くらいは西伊豆の土肥海岸に定着しています。温泉と波の静かな砂浜が近いのが何よりです。

秋の遠足もここ10年くらい東京サマーランドと横浜・八景島シーパラダイスへ交互に行っていますが、聞くところによると部員達にはどうもサマーランドの方が評判が良いらしいです。詳しくは聞いていませんが、泳げるところが良いのでしょうか？

水上運動会はプールのボイラー工事などの為、中々予定が立たなかったのですが、12月最終日の16日に行うことになりました。これも何年か在籍している子供達にとっては『プール(ジュニア部)での3大楽しみ!!』の一つだそうです。

余り泳げない子でも楽しんで参加できるような種目を考えて、“おみやげ”の賞品を貰えるからでしょうか？

9月の種目別少年スポーツ大会と3月の室内水泳選手権大会には全員参加を目指していますが、学校からの参加を優先していますので、ジュニア部として参加出来ないこともあります。昨年・一昨年も成績が良かったのですが、今年は予想外の好成績で大変嬉しく思いました。アウェーじゃなくホームプールで泳ぐ強みがあるのかも知れません。この調子で室内水泳選手権大会も頑張っって欲しいと思います。

途中で退部する子が年に何人かいますが、どうしても水が好きになれずに辞める子はほとんどいないようです。もし、そういう子がいたら申し訳ないと思っていますが、一番多い退部理由は塾の日程、次が体調でしょうか。

これまで27年間、一度も事故らしい事故がありませんでしたが、これからも安全第一をモットーに、そのようなことが起きないように肝に銘じていきたいと思っています。

SWIMMING



(7) G. シニア部

部長 神 忠久

G. シニア部は、水泳を通じて、生活の活性化と人生の生き甲斐を見えだし、併せて老化の防止、健康の増進・維持を図ることを目的として昭和59年に長期講習会の形で発足し、翌年の60年4月から正式に部となった。部員は、50才以上で、市教委主催の中高齢水慣れ教室の修了者のアフタフォローを市教委から要請され、当初はその水慣れ教室を修了した人達で構成された。

運営は部長・副部長が当たり、指導は専任コーチと1ヶ月交替の協力コーチが当たっている。運営・指導上の補佐、会計として専任コーチの中から一人マネージャをおいている。又、部員の中から若干名の幹事を選出し、コーチと部員間の連絡、部員間の親睦・交流にあたっている。

入部希望者が多く、市教委の教室修了者全員を受け入れることが難しくなったため昭和63年度から抽選で入部者を制限した。それでも希望者が増え続けたため市教委と幾度か協議を重ね、昭和67年度から2区分の時間帯を借りて練習することになった。平成8年度からは市教委主催の水慣れ教室の終了に伴い、連盟主催の泳法講習会の初心者コースの修了者等で代替えることになった。これを機に入部希望者が年々少なくなり、一時は200数10名に達した部員数が、現在では155名まで減少している。

部員は「元気で長生きすること」を目標に掲げ、「無理せずマイペース」で毎週練習に励んでいる。練習のメニューも半年サイクルの繰り返しで、高度なメニューは取り入れていない。殆どの部員はこの練習方式に満足しているが、一部の部員は物足りなさを感じ、高度なメニューの連盟主催の泳法講習会を受講しているようである。更に近年、2、3の泳力のついた部員は東京都市町村総合体育大会水泳競技に70才以上の部で三鷹市の代表選手として出場している。

水泳以外での部員の楽しみの一つは、日帰りのバス旅行である。日帰りのため足を伸ばせず、近場のバス旅行になるが、昼食は超デラックスなことと、ブドウやなし狩り等が必ず行程に入っていることが条件になっている。正副部長、コーチを含め100余名の昼食会場は壮観である。

(8) 三水連だよりチーム

リーダー 菊地 輝男

1981年6月に創刊された水泳連盟機関誌「三水連だより」は今年27年を経て、11月で163号を発行することになりました。当初は毎月発行されていましたが、その後長い間ずっと隔月発行となり、2006年度からは予算の都合で年4回になり現在に至っています。

当初よりB4横長サイズは変わりませんが、表だけでチラシのような時もありました。編集も手書きから写植、ワープロ切り貼り、ワープロ編集、パソコンによる編集へと変わり、今では原稿もほとんどe-mailで貰うようになりました。

編集会議はジュニア、GS部の専任コーチを含めた各クラブのメンバー(以前は2名以上参加していた処もあったが)に会長、理事長を加えて、お茶を飲みながら始まり最新号の反省と雑談を交えて、次第に編集方針が固まって行きます。

最近の記事で印象に残っているのは各クラブ特集と称して裏面をそのクラブに全とお任せしたことや(編集は非常に楽です)、「水泳のトリビア」でしょうか。ちなみにこの時、最高得点を獲得したのは

◇ 第1回アテネオリンピック大会水泳競技は海で行われた。

の項で、その解説には、

○ この頃には現在のようなプール施設がなく、ビルダス湾の海で行われ自由泳法の100m、500m、1,200mの3種目だけだった。 《90へえ～!!》

前回のアテネオリンピックの時はメダル獲得予想をして、楽水会が好成績。特別参加の横河スイミングは惨敗だった覚えがあります。

「新春・お年玉付きレッツスイム」に始まる「新春・歌会はじめ」シリーズもテーマを変えて4回を数え、お年玉に魅力を感じてか、中々《好評》のようで密かに待ちこがれている方達もいるようです。

一番のご長寿シリーズは「こんにちは会長さん」で、87年の40号から既に20年以上続いています。登場した会長さんも60人は下らないでしょう。普段余り話したことがない方でも「へえ～」と思わせられることが良くあります。代わりに質問をしてもらうことによって今更、改めて聞けないようなプロフィールもわかって、親近感を覚えることがあります。

ジュニア部の子供達にも合宿や遠足の記事をよく書いてもらいます。なるべく原文の雰囲気壊さないように校正は必要最小限に留めています。今年の「歌会はじめ」には初めて参加を呼びかけましたが、お世辞抜きで選者も驚くような出来栄の歌が何首もあり、お年玉として「図書券」を贈りました。

版下の写真はほとんど全てがカラーなので、一度カラー印刷の特集号を出したいと願っています。漠然とNo.200 あたりでと思っていたのですが、次のNo.164 新春・50周年記念特集号あたりがちょうど良いかも知れませんね。

No.164 とNo.200 を“カラー宣言”しますのでよろしくお願い致します。

(9) マスターズチーム

リーダー 竹島 茂子

50周年おめでとうございます。

前リーダーの一戸さんから引継ぎ10年が経ちました。10年前、登録会員数60名、現在は神会長を筆頭に24名。半分以上の会員になってしまいました。

練習する場所が三鷹のプール以外でも多く増え、若い方達でチームを作り出場されている方も多数居られるようです。マスターズチームの魅力が今一、反省在るのみです。

以前は係りの仕事も前日の場所取り、個表の作成、一覧表作りと多く在りましたが、現在ではパソコンが導入されみんなで集まっての作業も少なくなりました。

うれしいような寂しいような…。

大会出場数も三つ位に絞られています。5月に行われる短水路マスターズ大会、7月に行われるジャパンマスターズ大会、2月に行われる新春マスターズ大会。

出場の目的は皆さんそれぞれです。記録を狙う方、出場回数に挑戦、リレー種目で仲間意識を高める方、どれも素晴らしい事です。

そして今年のジャパンマスターズ’08大会では、80歳になられた小野てる子さんが200M平泳ぎで日本新記録樹立！三鷹の誇りです。

みなさんも三鷹の市民大会から辰巳のマスターズ大会へと足を伸ばしてみませんか？

60周年に向かって若い人の力を期待します。

(10) 電腦チーム

リーダー 刈谷 仁

電腦チームはパソコンを利用したスムーズな競技会運営を目指し結成された。その役割と成果は大きく電腦チームなしでの競技会は考えられないのが実情である。

電腦チームは

- ①三鷹市種目別少年スポーツ大会水泳競技兼「東京都学童水泳大会」
- ②三鷹市市民体育祭スポーツ大会水泳競技
- ③三鷹市室内水泳選手権大会

において大会当日に競技記録のパソコン入力、記録表の作成、賞状の作成を行い、大会前にはプログラムの制作、大会後には参加団体への礼状・記録表の配布等を行った。

今後の課題は多く、水泳連盟としてどの様に取り組んでいくのか会員皆さん協力が求められている。



市民大会・一般男子200mリレー

第5章 クラブ紹介

(1) 日本無線水泳部

副幹事 後藤 英文

えっ？
もしかして言っちゃった。
そう、おれマッチョ。

毎年発表している日本無線水泳部2008
今年の漢字です。

「英」そう、マッチョの字だね。
このたびの三鷹市水泳連盟創立50周年を
祝いまして、この漢字をお贈りさせて頂
きます。

それではわが水泳部の活動を紹介いた
します。日本無線株式会社の共済会体育
部に所属する部活動チームです。

まー会社が会社だけに、コンプライア
ンスのかけらもない人間の集まりなわけ
ですよ。メンバーは40人で、会社内では
全員居場所がありません。

練習は第二体育館内プールで、木曜日
の19時から夜間の部で行っています。
不定期で月2回、年間30回程です。水中
エアロビクスのイルカさん、スイセイさ
んと3チーム合同で練習しています。

年間行事としては、年始めの和太鼓演
奏と夏の合宿があります。そしてこの合
宿こそが日本無線水泳部一番の魅力なの
ら。投網やBQQ、花火等、水泳に関係
ない事でんこ盛り。

えっ？
またその質問かい。
そう、性欲は強い方だよ。

最後に地球上のすべてのレディーに伝
えたい言葉があります。

「マッチョ英文よろしくウイング！」

(2) MCC

会長 釜池 宏

MCCは正式クラブ名を「三鷹コミュ
ニティクラブ」と言います。何故、一見
水泳と無関係に思われるこの名前が付い
たのでしょうか・・・？ 話は昭和40年
代に遡ります。当時、三鷹市主催で「コ

ミュニティ・リーダー講座」というもの
が開催され、その講座を受けた方々が集
まって結成したクラブがありました。こ
のクラブは、主催の三鷹市、講座名のコ
ミュニティを冠して「三鷹コミュニティ

クラブ」と名付けられました。これが今日に引き継がれて来た由緒と伝統のある「MCC」という名前の由来なのです。

現在は60名を越える老若男女が集まって楽しく泳いでいます。ともすれば朝寝坊して何気なく過ごしてしまう日曜日の朝、プールに来れば水泳好きな仲間が居ます。2時間練習すれば、身も心も引き締まるから不思議です。中には、練習後ビールを戴き、心地よい疲労感も手伝ってお昼寝を決め込むお方もいらっしゃるんですよ（それ、お前のことだろうって？・・・たまには）。練習は初級・中級・上級とそれぞれのレベルに合わせて和やかに行われています。初級のコーチはMCC会員の中から教えるのが上手な方に順番に御願いしています。初めての小さなお子さんが何人かいる時には特別に「お子様専任コーチ」が親切に指導します。中級・上級はクラブ外のコーチを御願いしています。それぞれに異なった素晴らしい指導の引き出しを持っておられ、熱心に指導して戴けるのでとてもいい勉強になります。三鷹水連傘下のクラブの方に御願いすることも多くありますが皆さん気持ちよく引き受けて戴きとても感謝しております。これからも宜しく御願い致します。中級・上級は市民大会や都下大会で活躍する選手も多く、試合前になると飛び込み台を取り付けてスタートダッシュやリレーの練習などにも力が入ります。そうそう、それから自由に泳ぎたい方、ちょっとリハビリ中の方の

為にはフリーコースも設けてあります。マイペースでスイスイ泳いでおられます。

MCCは会長、副会長はじめ8人の役員でお世話させて戴いております。月に1回役員会を開き、三鷹水連の情報を共有しつつMCCの運営方法などを話合っています。若干高齢化気味なので、若い人にも魅力的な会にすることと、大会に女子のリレーメンバーが組めるようにすることが目下の大きな課題であり目標です。

MCCの活動はプールだけではありません。「新年会」「お花見」「高尾山ハイキング」等、盛り沢山の行事を通して会員相互の親睦を深めています。それぞれのご家庭の自慢料理やお酒を持ち寄って戴き、舌鼓を打ちながらの会話に日頃とは又違う会員のみなさんの姿に接することが出来るのも大きな楽しみの一つです。また、ホームページを通しての意見・情報交換もMCC活動の一コマです。

小学校時代の「浜寺水練学校」を皮切りに幾つかの「学生、企業の水泳クラブ」を経験しましたが、MCCほど家族的で和やかでいて、かつ水泳技術の習得も出来るクラブは初めてです。これからもこの良き伝統を守り、より素晴らしいMCC、ひいては三鷹水連の発展に微力を尽くすことをお約束し、拙文を締め括らせて戴きます。

(3) 三 泳 会

会長 中村ひとみ

金曜日の朝のプールを賑わす、我クラブ『三泳会』。

今から溯ること34年前の昭和49年秋、故米谷義朗氏指導の三鷹市主催の水泳教室後に、引き続き泳ぎたい約100名が残り準備委員会が発足。翌50年3月の理事会で承認され、4月1日に市内自主グループとして3つ目の「三鷹水泳友の会」(52年より、正式名称三泳会)が誕生しました。

今ここに先輩にお借りした、昭和51年度「三鷹市水泳連盟会員名簿」を開くと、(4)三鷹水泳友の会として、「顧問」「特別会員」「役員」「支部役員」「特別会員」と構成され、一般会員としては7ページにも及び名前が連なります。

そこには、三泳会の大先輩方の名前もさる事ならば、現在は他のクラブでご活躍の方々の名前も並び、まさに三鷹市水泳連盟確立の歴史を感じます。

最近の会員数は100名前後を増えたり、減ったりの状態ですが、若い方達の入会が増え、負けじと肉体年齢も実平均年齢も若返って、活気あふれる練習会になっています。

下は31歳から上は80歳までの3世代、クロール・背泳ぎを基本から教わる初級から、バタフライのうねりに苦しみながらも、個人メドレーの習得に励む中級、試

合には欠かさず出場、日本記録保持者もいる上級まで3クラスです。

クラブ内の運営を司る月一回の理事会では、練習日程の調整から予算管理、会員名簿の把握管理などの事務面と、避難訓練の実施や会員相互の親睦を計りつつも闘志漲る？運動会の計画、運営、年度末の総会開催までの実務面を一年間とし、一般会員とのパイプ役も兼ねる8名の理事と、会長、副会長以下全員で切磋琢磨し、会を盛り上げ運営を担います。

また日々進歩する指導法・救助法の勉強や試合のお手伝いなどを行う月一回の研修会では、ほぼ100%の方が指導に携わる為、レベルアップ・スキルアップを目標とし三泳会ひいては三水連の泳力向上に関わる努力を惜しみません。

私自身、中学校卒業以来18年振りに泳いだ場所が三泳会。今は伝説になりつつある、キツイ練習で酸欠になり、救護室で寝ていたあの日・・・。

身体は覚えていても体力が付いて行けず苦しい何ヶ月でしたが、自転車と泳ぎは一度身に付いたら忘れないと言われるように、感覚は日に日に戻り体力が付くにつけ大きな趣味になり仕事としても始めることになりました。

また、ご近所での友人作りには絶好でした。先輩方の配慮により練習後には昼

食を食べに行くようになり仲間が出来、指導員資格を取るきっかけになったり、週一回の練習では物足りなくなり、他のプールへ泳ぎにも行き試合へも参加するようになったりと、水泳が占める割合はどんどん大きくなりました。

あの日、山下さんが誘ってくれていなかったら、今の私は存在していません。

三泳会に入り仲間が出来、諸先輩方の指導の下、生涯の趣味に出会えたことに感謝しています。

発足当時のモットー『和と向上心』を大切に、水泳に関わったからこそ得ることの出来る喜びと楽しみ。

そんな方が増えますように・・・、我『三泳会』で泳ぎましょう。

(4) み ず と り

みずとりに入会してはや10年。が、みずとりは、一昨年30周年を迎え、なんと今年は、三鷹市水泳連盟は、50周年を迎えた。その年に会長になってしまった私である。まあ、会長には順番が回ってきたというだけのことなのであるが、若輩ゆえにこのおめでたい歴史の重みをひしひしと感じる今日この頃である。

10月現在で119名の会員数を誇り、連盟唯一の100名超のクラブである。

指導者（三鷹市スポーツ指導員・文部科学省認定（財）日本体育協会が実施する水泳C級スポーツ指導員の資格保有）数は23名。指導者会があり、毎回の練習後、指導者会の係が指導のレベルを上げるべく5分間研修をし、年1回の研修旅行と年3回の指導者会を開催し、指導法、指導者の心得、会員の安全を第一にさまざまな対応を話し合っている。競技会では、競技役員も引き受けて

会長 田中 秀子

くれる知己あふれた頼もしいメンバーばかりである。

役員は会長、副会長、理事の3役が連盟の理事会に出席、その他、会計、書記（みずとり便り発行）笑顔で対応の会員係が2名の7名で月1回の役員会を開催している。今年は、私が連盟の会計部長を、副会長の山中が会計副部長、競技部係を、理事の横田が競技部、総務部の係を受け持っている。それぞれ、限られた時間をフルに利用しつつも私を強力に支えてくれる面々である。

忘れてならないのが会員さん！5つのコースがあり、楽しく練習している。①水慣れは、ブクブクパーのジャンプ呼吸からという初心者向けコース、昇級条件はクロールと背泳ぎ25mをきれいに泳ぐことである。②初級は、プールサイドから飛び込んでクロールと背泳ぎ50mと平泳ぎ25mをきれいに泳ぐことが目標と

なっている。③中級は、ウォーミングアップでのクロール200mと飛び込んでの個人メドレー100mが昇級条件でこれをクリアすると④上級となる。みずとりで特徴的なのは⑤ソフトがあることだ。上級の力量はあるけれど、体調などを考え、そこでハードに泳ぐよりもソフトにでも見事な泳力で練習するコースである。どのコースも楽しく仲良く水しぶきをあげている。練習の前後では、すべてのコースの人達がコースロープ準備や後片付けをしてくれる。

年間で大体半分くらいの比率で外部と内部のコーチで指導している現状だ。毎回、指導者ノートに練習メニューと様子を記入してもらい、会長が確認している。

水泳を通じて会員相互の親睦と健康の増進を図り、人生を豊かにすることを目的とする仲間が時に新年会、お花見、運動会、バザー、記録会、三鷹市駅伝など

色々な行事にも積極的に協力・参加のクラブである。競技会の出場者数はさることながら、数多くの大会新の記録も獲得している。

皆様ご存知か？どうか？みずとりのマークは、朝倉摂さん（舞台美術家・画家でその方面であらゆる賞を受賞されている）のデザインによるものでみずとりの大切な宝物なのである。設立当時、朝倉さんの友人がみずとりのメンバーで気軽に引き受けてくださったという経緯がある。練習時には左右についた119×2羽のみずとりのマークの帽子がすいすいと泳いでいるはず！

この節目に素敵なみずとりの一員であることと、みずとり創設者、歴代の会長はじめ役員の方々、会員にあらためて感謝し、共に祝いたい。三鷹市水泳連盟50周年に乾杯！！

（５）楽水会

楽水会は、昭和52年4月に故米谷義郎会長の水泳に対する考え方や指導法に、共鳴する人達によって発足、当時200名以上いた会員も現在93名で毎週木曜日に、初級、中級A B、上級、あじさいコースでの練習会。楽水会指導教程書を基とし、発足当初から現在も活躍し指導して居られる先輩達と共に、新しい指導法等も勉

会長 二宮 町子

強し、それらを取り入れながらの練習会です。指導者としては指導者研究会や一泊研修会を行っています

年間行事として避難訓練、水上運動会、記録会、永続泳、リズム水泳、横泳ぎ、親睦会、総会等、その年のカラーで色々取り入れ楽しい仲間の輪を大切にしている会です。

昨年は、楽水会も30周年を迎え記念行事が沢山ありました。

第一弾	4月	多摩丘陵でお花見
第二弾	5月	アクアエクササイズ
第三弾	6月	ボーリング大会
第四弾	11月	修善寺みかん狩り 日帰りバスツアー
第五弾	12月	水上運動会、 帽子作成
第六弾	3月	祝い納めの食事会

会員のデザインに依る白のスイミング
キャップを全員に配布。

今年の市民大会ではその揃いの帽子で、
中級の人達も積極的に声かけあい参加し、
大いに盛り上りました。

楽水会には、これも会員の方の作詞作曲による「楽水会の歌」があります。この歌詞に感動させられたと言う新会員も居りますので、そんな人を感動させる会歌を紹介したいと思います。



- 1、初めて泳げた日のことを
あなたは覚えておりますか
ああ友達の声援と
大きな拍手がなつかしい
- 2、教えられたり教えたり
明るい笑顔と水しぶき
ああ先生と仲間たち
揃いの水着で心はひとつ
- 3、悲しみ苦しみ乗り越えて
生きてきました昨日今日
水との出会いを大切に
その名も楽しい楽水会

と、今でも総会や水上運動会などでは皆で合唱しています。こんな会で仲間と知り合え、一緒に頑張ってきてよかったと思います。水泳との出会いのお陰で娘も同じ会でお世話になり、一緒に泳いでいた時期もありました。これからも仲間と末永く、楽しく泳いでいくには、皆、健康第一だと思いますので皆様健康には十分気を付けいつまでも若々しく泳いでいきましょう。



(6)かわうそ会

会長 佐藤千代治

三鷹水泳連盟創立50周年を迎えた今年、会長としてかわうそを長年リードした大道裕さんが7月17日に永眠されました。

かわうそ創立31年の内、平成10年から平成20年まで会に尽くして頂いた氏の考えていたことを40周年の「水しぶき」「かわうそ30年史」から振り返り現在を比較します。

40周年の「水しぶき」では会員が最盛期100人近くいたが、平成10年は70人になり減少を心配していました。

平成20年は71人とほぼかわりませんが減少傾向は変わりません。ただ会員の内容が変わってきました。一般会員の他に登録会員をつくりました。会費が一般会員と異なり二本だてとなり本来の姿ではないと思いますが、会員の減少と競技会へ積極的に参加するためにとった苦肉の策だとも思います。現在の会員を厳密に数えると心細く登録会員10名の競技会の選手・役員、上級コーチとしての活躍なしには寂しい限りです。一般会員がもう少し競技会に参加すると活気が出てくると思います。

高齢化も着実に中心が50代から60代になります。若い会員（中学生・高校生・20代）では定着せず、30代・40代の会員となれば登録会員が大半で将来一般会員となりかわうそ会の中心になっていただ

ければと思います。

会の親睦の事でも年間行事が5月の指導研修会（さくらんぼ狩り）、泳いで深大寺で蕎麦を食う会が加わり五回になりましたが、いずれも参加者が少なく他のクラブに声をかけています。

かわうそ会のホームページを開いたのも大道さんですが、30年史を見ると昭和63年にかわうそ1号・2号、平成2年に3号を発刊していますがその後ありません。

会員71名中30人前後の出席では会の情報をプールで伝えることは難しく電話網、手紙を利用するのも一つの手段ですが、かわうそのホームページを見て頂く事が一番よいと思います。10年前にアクセスが10名程度と書いてありますが、当時と比べてパソコン・携帯電話の普及が進み、ホームページを見ての入会、意見・感想の書き込みも増えてきました。

親睦を深めるための改善策は一杯あります。会員が知恵を絞り協力して会を盛り上げられます。

また個性を大事にして、組織としてまとわりはないが、その自由な雰囲気がかわうその伝統だと書いてあります。大道さんのお母さんの手紙にも「かわうそは彼にとって一番心安らぐところだった」と書いて頂いたようにここまで会を育てた気持ちを大切にしたいと思います。

第6章 水しぶき

「プール仲間」

日本無線水泳部 村上 雅彦

日本無線水泳部で現在会計をしている村上です。日本無線水泳部は歴史があり水泳連盟が発足した当初から加盟しています。当時の事はよく知りませんが今より活気があったと思います。

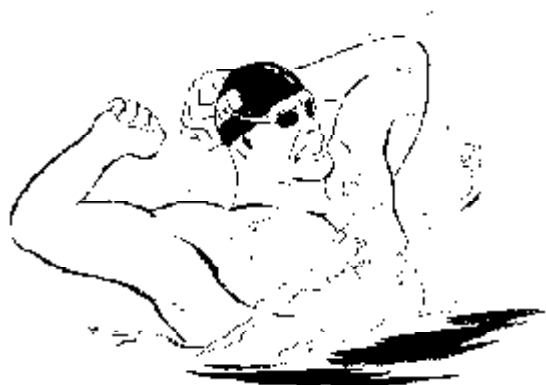
数年前から新入部員が少しずつ入ってきてようやくリレーが組めそうな状況になってきたのに、私事ではありますが、今年の6月に2人目の子供が生まれました。現在は子育てがあるので自分が欠席で出られない状況が続きふがいない限りです。来年からは是非最前線に戻って活躍したいと考えています。

このまま水泳部を放っておくと元幹事の後藤氏のやりたい放題になってしまうし、口先だけの幹事 藤原氏なんかにも

任せてはおけません。不安で夜も眠れない日が続いております。まずは先手として11月に行われる筑波のマラソン大会(競泳ではないですが)で後藤さんに見事勝利して天狗の鼻をへし折り、その勢いのまま3月の選手権大会、都下大会でよい成績を残し、来年こそは政権を奪還しようと目論んでいます。

ここでこんなことを書いてしまうとみんなにばれてしまいますが、完璧な計画を考えているのでまったく問題ありません。

村上の日本無線水泳部と、今年で50周年の三水連がこれからも引き続き盛り上がっていくよう心から祈っております。



「三鷹水連・過去・現在・未来 泳いで 泳いでハンセイキ」

MCC 柳井 宏夫

小学2年生のこと。お盆に集まった親戚の大きい子や姉たちに連れられて、近くの中学校のプールに行った。まだ、泳ぐことが出来ず、抱えてもらってプールに入る。

姉たちもしばらくは面倒を見てくれたけど、あとはプールサイドで見学。楽しそうだ。

1人だけポツンとしているのはつまらない。突然、何を思ったか、プールにドボンと飛び込んだ、らしい。ブクブクとプールの底へ。沈んで足がつくと底を蹴って水面に顔を出す。また、ブクブク。飛び上がって顔を出す。この繰り返し。ようやく誰かが気付いてくれて助かった。怖くはなかった。その晩、さっそうと泳げる夢を見た。母が、「夢はホントになるよ。」と言ってくれた。

小学5年生。カルキの臭いがするトタン屋根の更衣室。半ズボンとランニングシャツを脱ぎ捨てると、喚声の聞こえるプールにドボン。あの中学校のプールだ。バシャバシャだけどなんとか100メートル泳いだ。

中学3年生。剣道場。「正座！、黙想！」。「止め！」の合図で1年生が駆け寄ってくる。

先輩の防具を片付けるためだ。九段の武道館で行われた全国少年剣道大会。準優勝。キャプテンである。偉そうに防具を脱ぎ捨て、下にはいていた海パンひとつで廊下を走る。プールに向かって。真夏の剣道は暑い。プールにドボン。あのプールだ。

プールサイドを歩いていると、片付け終わって遅れて来た1年坊主が3人くらいで背中を押してくる。

プールにドボン。落ちたのは1年坊主。一流剣士は、背中の気配が分かるのだ。

今年5月の室内記録会。ブレスト50mで自己ベスト（大会新）。人生の中で今が一番早いということか。ドボンと溺れて半世紀。三水連と同じだ。過去、現在、未来。未だ、進化中。

家内と一緒にMCCにお世話になって4年半。楽に、綺麗に、より早く、記録更新目指して、今日もプールに向かう。『泳いで 泳いで ハンセイキ』である。家内とも「泳ぎ疲れて ケンタイキ」、ということはない。日々、泳法を工夫している反省期でもある。

ビバ（viva）三水連！！

「プー ルで 得たもの・プー ルが 私にく れた もの」

MCC 古小路 英子

子供の頃、田舎に遊びに行ったとき、川に落ちてからと言うもの、水が怖くなって、学校のプールでの授業は、いつも休んでいた。それにハッパをかけられるように、大人の人から、「大人になってからも、水に気をつけなさい」と言われたので、益々水が怖く成って行った。私の子供と海に行っても泳げず、砂浜で遊んでいたのが、今思うと悔しいです。水泳をするきっかけは、三鷹広報だったと思います。

大沢コミセンで、5回講習受けると泳げるように成るとの事。悔しさをこれで埋めようと、参加しました。先生は、MCCの伊東先生でした。すごく憧れの人となり、それから水泳クラブに入りました。

白石先生、奥先生等、大勢の先生方のお世話になり、今泳げる私がいます。

10何年かかって、今やっと4種目泳げるようになりました。子供の頃の、プールの時間を後悔してます。

泳ぐ楽しさも、少し判ってきました。水が、『仲間』として、私を受け入れてくれたのかな～？

何度か、大会のお手伝いをさせて貰ってますが、毎回毎回、三水連のみなさんは、元気はつらつです。

三水連50周年！MCCのメンバーの中には、まだ生まれていない方も大勢いますね。生まれて10年しかたっていない人もいます。

私が川に落ちて50年です。

何だか不思議な自分になりました。これからも、泳ぎ続けたいです。

皆さんと一緒に泳ぐから、楽しく続けます。これからも、宜しくお願い致します。ありがとうございました。



「プールで得たもの、プールが私にくれたもの」

三泳会 中桐 一枝

北京オリンピックで北島康介選手が日本国中に感動と興奮を与えた水泳は本当にすばらしかったですね。

私の水泳は40代以後今日に至るまですばらしい出会いと共に人生そのものとなりました。きっかけは子供たちと海水浴に行き、一緒に泳ぎたい思いで始めたプール通いでした。通い始めた頃は疲れや頭痛やらで週1の練習はきつかったと思います。何とか泳げるようになりたいと週2になり、週3に増えていきました。それは練習後のランチとおしゃべり、練習時間より長いこれが今日まで続いた理由かも知れません。

そして、仲間に励まされ、指導していただいたおかげで水泳指導員の資格が取得でき、指導員として働くことにもなりました。

夢は更に膨らんで南の島で泳ぎたいと「天国に一番近い島」で有名なニューカレドニアに仲間の皆さんと行くこともできました。

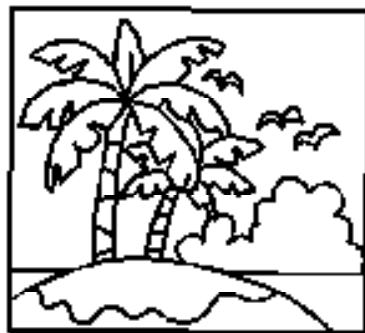
当然ながら会に長く所属していれば、いろいろ役員を引き受けなければならなくなり、子育てをしながら夜の会議、研修会等忙しい毎日を送りました。たまには意見がぶつかり合うこともありました

が、いろいろな経験で大きく成長させていただいたと思っています。

水泳関係の仲間の人たちと楽しく暮らしている中、夫の勤務の都合で6～7年海外で暮らすこととなり、最初の頃は「今頃は泳いでいる時間だなー」と思い出しでは沈んだ気持ちになったりもしました。帰国したときに困らないように近くのプールに通ったり海で泳いだりしましたが、やはり一人で泳ぐのは続かず、仲間の人たちと泳ぐことがどんなにすばらしいか思い知らされました。

帰国してから又三泳会に復帰して泳ぎはじめました。残念なことに前に仲良くしていた方がやめられていて寂しい思いもありました。

シニアになった今、一人でも、会の人達とも楽しく泳ぎ続けられていることが本当に素敵な事です。



「プール仲間」

三泳会 須之部 立子

「おはようございます！」

この4月から金曜日の朝、少し早起きして三鷹市営プールに向かう。受付け係になったからだ。

8時50分頃から、メンバーが次々と現れる。猛暑や大雨の中、汗だく、ぐっしょりで、入り口に入った途端「はぁ〜っ！」と大きなため息をつき、にこっと笑顔で挨拶をしてくれる。

今日も気持ち良いプールの時間が始まる。

私がプールにお世話になる事になったのは、ある年齢を迎えた時、ふと体の柔軟性や筋力、持久力がどんどん無くなっている自分に気が付き不安になったからだ。はっきり言えば、だらけた体になっていた。ちょうどその頃、子育てに手がからなくなり、少し余裕も出てきていた。

入る前は体力作りと健康維持が目的だったが、真剣に泳ぎに取り組んでいるメンバーの姿を見て、年齢に関係なく何事にも何時からでもチャレンジ出来るのに、そういう気持ちを私は忘れていたと感じた。少しでも上手く、長く、速く泳げるようになりたい。自分流に筋トレや体力作りを始めた。そういう気持ちになって

頑張っている自分がちょっと嬉しかった。

泳いでいる時間が本当に楽しくて仕方なかった時に、病気でちょっとの期間泳げなくなり、その後家庭の事情でプールに入れない事が多くなった。色々な事があり、前向きにと思っても気持ちが落ち込んでしまう。そんな時、プールの仲間と話す時間が何よりホッとするひと時だった。元気を分けてもらった。休んでいる間も声をかけてくれた仲間に本当に助けてもらった。

プールに復帰して、久しぶりに入ったプールは何と気持ちの良かったこと。上手く、長く、速く泳げるようになることは簡単なことではないけれど、「無理！出来ない！だめだ！」ではなく、今、自分が出来ることを精一杯しようと心に誓い、これからも仲間と楽しく元気に泳ぎたいと思う。

「水泳体操2回、深呼吸2回！」

「ありがとうございました！」

約1時間のプールが無事終わった。泳げることに感謝。プールに感謝。プールの仲間に感謝。

これからもよろしく！

「プール新設に夢をたくして」

みずとり 井上 紀子

私の友人が自転車で倒れ膝を打った。すぐに冷やし、医者に行くと捻挫との事、そこで言われたことは「プールで歩きなさい、陸で歩くのはよしてください」との事だった。現在市には年間通して高齢者が安心して健康維持のために通うプールは公の施設としては1つもないのが現状である。

そこで介護予防事業をしているところとスポーツ振興課、相談情報センターと3箇所を回り私が現在理想としている世田谷区のプール（ごみ焼却場の温熱を利用し25メートルのプールと120cm以上の子がすべるおすべり台とその周りが流れるプールになっている、ここでは老若男女が浮いたり歩いたりして年々高齢者の利用が増加している。

温浴ゾーンがあり歩いているだけで寒くなるのでジャグジーで暖まることも出来るし隣には水風呂もあり幼児用プールもあり打たせ湯もあるストレッチ場所も広く取ってある。それが1時間単位の料金で高齢者と障害者は80円である。お休みは元日のみである）を引き合いに出し話を聞いてもらった。

三箇所とも介護予防の為のプールと競技用のプールをドッキングさせて作るこ

とは賛成ですと言ってくださった。そこで夢を実現させる為にはダイレクトに市民相談から市長宛に「要望書」を書くことだと教えられ要望書の書きかたという用紙を下さった。

団体に公印を使うことによってその書類は5年から10年保管されるとの事、継続して運動していかないと実現しないとも言われた。

今までに市長に水泳連盟として御願いに行っているが要望書受付者は、5年間ここにいるがまだ1度もここからはそのような運動はされていないとの事であった。

個人の運動ではダメで水泳連盟として理事会で検討してくださるようお願いいたしたいと思うしだいである。



「水泳に出会ってよかった」

みずとり 小西 多江子

小学校のときにプールがあり体育授業で泳いでいたが、遊びの延長で自己流の泳ぎをしていた。それなのに、6年生のとき、他の学校との大会で自由形五十メートルに出なくてはいけなくなった。最後のほうはアップアップで立ち泳ぎのようになり、苦しい思いをしたことは、今でも忘れられない。

三十七歳のとき、消化器系の手術で一ヶ月に渡り入院生活を余儀なくされた。子供にもまだ手のかかる頃であり、早く動きたい、との気持ちとは裏腹に、すっかり筋力がなくなっていた。「リハビリには水泳が一番よい」との医者からの勧めもあり、友だちに誘われてみずとりに入会させてもらった。最初は『みずなれ』から教えてもらうことになり、小学校のときの苦しい経験があるだけに、基礎から教えてもらえるのは嬉しかった。

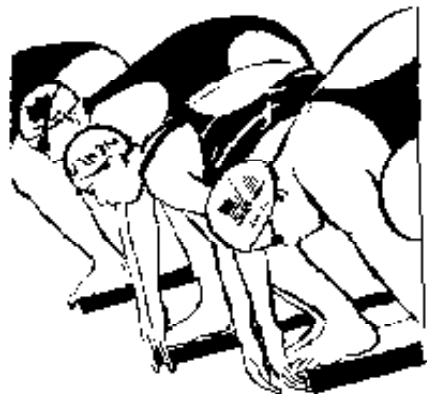
中級のころから四泳法が何とか泳げるようになり、それからは上手になりたい意欲も出てきた。いまでも自分なりに、その気持ちを持ち続けている。

水泳の魅力は、泳いでいるときには無心になれることだ。仕事のこと、気になること、いろいろストレスがあっても、

泳ぎ終わったときには、リフレッシュできる。

それから、長く泳いでいると大切な友人もできた。続けてクラブを休むと、「どうしたの、早く出ておいで」と心配してくれるのは嬉しい。一緒にたわいもない話に時間があっという間に過ぎ、別れる頃は元気いっぱいの自分がいる。水泳はうまく私の中で存在してくれていることに今更ながら気が付く。

こんなすばらしい体験ができているのも大勢の諸先輩が築いてくださった三鷹水連があったからと思う。これからも泳ぐことが大好きな人が増えるために、ずっと続いて欲しい。



「水泳って素晴らしい」

楽水会 浅田 栄子

三鷹市水泳連盟50周年、おめでとうございます。

50年の長きにわたり、連盟の運営に御盡力された、会長・副会長始め、理事、各クラブの委員の方々に対し厚く御礼申し上げます。伝統ある三鷹市水泳連盟の一会員として、この祝賀に参加出来ますことを、大変嬉しく存じます。

昭和48年に水泳教室が開催されましたのを機に初歩から正しい指導を受け、苦しくても楽しい日々をすごしました。昭和51年1月には、三鷹市で東京都水泳協会主催の、第二種指導員のテストが行われました。4月には三鷹市スポーツ指導員証を登録し、9月には日本水泳連盟の第二種競技役員の講習も受けました。競技役員は土曜、日曜と競技会が多く、日本選手権、国民皆泳、マスターズ、国際スポーツフェア等、20年程続けました。緊迫した競技の様子が思い出されます。

三水連の行事も多く、交流会、指導者講習会、実技研修会、市民大会等各クラブの方々とも交流が出来、お互い切磋琢磨して、すばらしい力を発揮しています。また、ジュニア部・GS部の方々も嬉々として頑張っており、頼もしい限りです。

楽水会は昭和52年5月、故、米谷義郎

会長のもと発足以来、昨年で30周年を迎えました。記念の水泳帽子、高尾山ハイキング、ボーリング大会、水上運動会、伊豆へバス旅行等、全員でお祝いムードいっぱいでした。日頃の練習は、年間のスケジュールに合わせて行い、外部より先生をお招きする時は、皆一緒に泳げることも楽しみの一つです。

そして先輩から後輩へと引き継がれ、末長く続くことを願っております。

健康の源は水泳でしょうか。水泳のおかげで自分自身も喜びを得、人にも喜びを分かちあえ、良い仲間と共に出来るだけ続けて行きたいと思っております。

本当に感謝の気持ちでいっぱいでございます。

永久に続く三鷹市水泳連盟には今後もよろしくお願い致しますと共に、益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。



「水泳って素晴らしい」

楽水会 栗原 敦子

泳ぎたい！

3年前、思いもよらぬ病を得て入院生活を送りました。まんじりともせずベッドで過ごす日々の中、健康のありがたさを痛感すると同時に、ひとつの後悔の念が…。「泳げるようになりたかったなあ。こんな事になるなら元気なうちに水泳を習っておきたかったなあ」と。

子供の頃からカナヅチでそれがコンプレックスでした。コンプレックスを隠すかのように陸上やテニス、ゴルフに没頭したというのが正直なところですが。もし死ぬのなら泳げるようになってから死にたい！いやいや、泳げるようになるまでは死ねないぞ！という思いを繰り返しながら退院の日を迎えることができました。

人間、強い信念？のような願望を持つ

と、どこかで誰かに通じるようで、全くひょんなご縁をいただき「楽水会」に入会！生まれて初めて水泳を教えていただく日々はもう楽しくて楽しくて。たくさんプールの水を飲み、あふれるばかりに指導の言葉をかけていただき、いっぱい練習をし、今、私は50メートルを泳げるようになりました。何よりも感謝です。

たくさんの諸先輩方に支えていただき導いていただきました。そして感動です。私も泳ぐことができる！と。幸せは自分の体の中にありました。バタ足のひと蹴りひと蹴りが、腕のひとかきひとかきが幸せの実感です。

これからも水泳を続けて自分へのチャレンジを繰り返していきたいと思っています。



「プール仲間」

かわうそ会 佐藤千代治

現在かわうその会員は51名です。年齢は14歳から80歳まで、住まいも遠く中野区・板橋区から来る会員もいます。

男女ほぼ同数、一般会員は大人39名、高校生1名、中学生3名、登録会員8名です。老若男女幅広くよい雰囲気です。

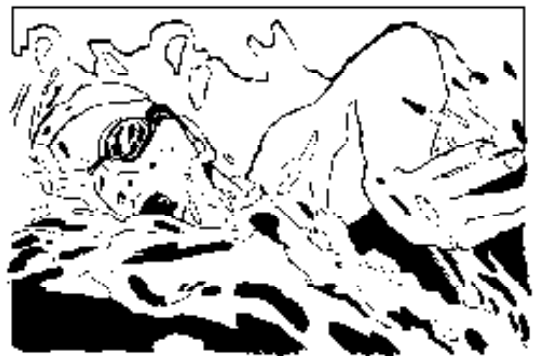
体調・仕事・受験・の関係で、9月時点で6名の退会、入会がありました。入会の動機は様々ですが、職場 学校からの気分転換、健康管理のための運動等です。

このため競技会の参加は選手・役員とも登録会員、一部の一般会員に頼っています。練習時間が火曜日の7時から9時なので、会員相互の親睦を深めるために、3ヶ月に一度のふれあいデー、年間行事の4月のお花見、5月の深大寺で泳いで蕎麦を食う会6月の指導研修会、11月のバーベキュー、12月の忘年会があります。

7月17日、10年間会長をされた大道さんが亡くなりました。副会長だったので、軽い気持ちで会長に立候補しましたが、大道さんのかわうそ会、三鷹水連での活躍を聞くにつけ、一人で引き継ぐことはむりです。また三水連の役員の菊地副会長、刈谷総務部長、電脳チームの田中和子さんの苦勞・役割を会員に伝えて分

担・協力で大道さんをひきつがなければとおもいます。思えば私自身、泳法講習会の紹介で、入会して20年近くになり、三鷹水連での先輩、仲間とは伊豆七島、佐渡、伊豆吉田の海水浴と楽しい思い出が一杯あります。仕事と違い定年制がなく100歳でも会員になれます。

現に80歳代になり、来年のホノルルマラソンの参加が目標の初代会長の半沢勝夫さんも会員です。会の核になる会員が高齢化する事は自然で様々な理由で退会しても、共に過ごした時間を懐かしく、たまには訪れてみるかと思える故郷のような仲間です。



「プール新設に夢を託して」

かわうそ会 裴綿ちよ子

泳げなかった私が、ここまで出来たと！年齢を重ねて益々泳ぐ事が好きになっています。

三鷹市に引っ越して来た時は、大沢5丁目でしたので、三鷹市民プールまで行くのが面倒でしたが、野崎に引っ越して来て一番嬉しかったのは、プールが近くなったという事でした。

早朝からの練習、みずとり会に入会しました。最初は水が好きといっても、息継ぎができず、苦しくて、特に背泳ぎは、顔が出ているのに苦しいのはどうしてと・・・苦手でした。

クロールも中々息継ぎが苦しく、平泳ぎの方がカンタンと思い、市民大会に出場してみましたが・・・ガックリ、私は遅かった。平泳ぎは本当に難しい。それでも泳ぐことは大好きです。でも冬場になると、休場・・・色々な修理が、プール場はもう大分疲れているのです。

そこに平成7年、塚に総合プール計画の話が出てきて、市役所よりも近いしきれいで広いプールで泳げるなんてと嬉しい・・・それに水中歩行が大分盛んになり、平均年齢も徐々に上がっていくし、泳ぐ方が少しずつ減少しているように感じています。雨風や冬でも一年中体を楽し

に運動できるのは、やっぱりプールだと思います。

その7年の計画を断念しなくてはならなくなり、又平成11年にその話が浮上してきたのに又、断念とは。今度こそ、今回の調布市とのゴミ焼却炉を利用して温水プールを作る為の署名にも参加しましたが、今度こそ、一年中休まず使えるプールで脱衣所が広く、又、シャワーが一定の温度で、数も少し増え、今後高齢化していく日本、長生きするなら元気で90歳迄も泳いでいられるくらい、又、泳ぎに行ける施設を造っていただきたい！

芸術鑑賞も大切ですが、両方、心も身体も生き生きしていける三鷹市であって欲しいと切に望みます。



市民大会・少年大会・室内選手権大会の大会記録一覧

市民体育祭スポーツ大会水泳競技大会記録

	男	子	女	子
中 学				
50m自由形	近藤 正和 (一 中)	25.52 (H13)	三浦 葵 (三 中)	28.39 (H13)
50m平泳ぎ	渡辺 翔太 (四 中)	32.74 (H17)	山田 彩世 (六中爆泳会)	36.58 (H15)
50m背泳ぎ	笠原 俊晃 (横河DAI TEAM)	29.22 (H11)	米山 彩 (横河DAI TEAM)	31.61 (H11)
50mバタフライ	清水 豪 (四 中)	27.14 (H19)	宮崎 美歌 (二 中)	30.98 (H14)
100自由形	清水 豪 (四 中)	58.26 (H19)	谷渕 綾乃 (久我山中)	1:00.65 (H 8)
100平泳ぎ	南 鑑起壮 (三 中)	1:10.3 (H 2)	相原 佳菜 (四 中)	1:16.74 (H12)
100個人メドレー	福崎 駿介 (六中爆泳会)	1:06.09 (H15)	片倉 優里奈 (六中爆泳会)	1:09.47 (H15)
200メドレーリレー	六中爆泳会	2:01.58 (H15)	六中爆泳会	2:10.70 (H15)
200リレー	三 中 A	1:48.6 (H 4)	六中爆泳会	1:56.97 (H14)
一 般				
50m自由形	北脇 潤也 (横河S C)	24.61 (H12)	三浦 葵 (市 民)	28.26 (H14)
50m平泳ぎ	浅田 憲和 (エリージア)	30.49 (H 9)	小山 知子 (エリージア)	37.32 (H 9)
50m背泳ぎ	長沢 啓二 (三鷹高)	28.7 (S63)	小林 亜衣 (横河DAI TEAM)	30.95 (H11)
50mバタフライ	中園 博喜 (たかだ)	26.54 (H16)	小林 亜衣 (横河S C)	31.46 (H12)
100個人メドレー	相原 雄介 (横河DAITEAM)	1:00.58 (H11)	小林 亜衣 (横河DAI TEAM)	1.10.46 (H11)
200メドレーリレー	横河S C B	1:51.08 (H12)	三鷹高校	2:12.69 (H20)
200リレー	横河S C B	1:40.17 (H12)	三鷹高校	2:00.37 (H20)
35才以上				
25m自由形	大久保 雅 (かわうそ会)	12.98 (H20)	宮沢 みどり (みずとり)	14.80 (H 8)
25m平泳ぎ	坂田 一晃 (かわうそ会)	16.45 (H17)	宮沢 みどり (みずとり)	18.65 (H10)
25m背泳ぎ	高藤 豊治 (エンデナカイ)	15.8 (S59)	中村 ひとみ (三泳会)	18.14 (H 7)
25mバタフライ	高藤 豊治 (エンデナカイ)	13.5 (S59)	中村 ひとみ (三泳会)	16.00 (H 8)
50m自由形	鯉江 伸浩 (チーム91)	27.4 (H 3)	宮沢 みどり (みずとり)	32.19 (H11)
50m平泳ぎ	中野 裕司 (M C C)	33.84 (H 9)	宮沢 みどり (みずとり)	41.37 (H10)
50m背泳ぎ	佐藤 陽平 (海上技研)	31.75 (H19)	中村 ひとみ (三泳会)	38.81 (H14)
50mバタフライ	坂田 一晃 (かわうそ会)	30.32 (H16)	中村 ひとみ (三泳会)	34.91 (H13)
100個人メドレー	佐藤 陽平 (海上技研)	1:08.10 (H19)	小林 千穂 (市 民)	1:20.66 (H17)
200メドレーリレー	かわうそ会 A	2:12.13 (H17)	かわうそ会	2:18.12 (H20)
200リレー	かわうそ会 A	1:55.10 (H17)	三泳会A	2:19.52 (H 9)

	男	子		女	子
45才以上					
25m自由形	井口 仁隆 (市民の会)	13. 55 (H14)	宮沢 みどり (みずとり)	14. 94 (H17)	
25m平泳ぎ	井口 仁隆 (市民の会)	17. 06 (H15)	宮沢 みどり (みずとり)	19. 19 (H16)	
25m背泳ぎ	辰馬 徹 (セサミ三鷹)	17. 55 (H20)	中村 ひとみ (三泳会)	18. 10 (H15)	
25mバタフライ	土屋 宏 (市民の会)	14. 20 (H12)	中村 ひとみ (三泳会)	16. 18 (H18)	
50m自由形	井口 仁隆 (市民の会)	29. 13 (H11)	宮沢 みどり (みずとり)	32. 45 (H19)	
50m平泳ぎ	中野 裕司 (かわうそ会)	35. 36 (H17)	宮沢 みどり (みずとり)	42. 29 (H17)	
50m背泳ぎ	佐藤 清 (M C C)	36. 74 (H19)	中村 ひとみ (三泳会)	38. 59 (H15)	
50mバタフライ	坂田 一晃 (かわうそ会)	30. 68 (H20)	中村 ひとみ (三泳会)	35. 61 (H18)	
100m個人メドレー	中野 裕司 (かわうそ会)	1:12. 69 (H17)	近藤 志津世 (M C C)	1:27. 17 (H18)	
55才以上					
25m自由形	小林 雅之 (市 民)	14. 07 (H19)	土橋 伸子 (三泳会)	16. 68 (H 8)	
25m平泳ぎ	堀尾 虎徹 (ルネ三鷹会)	18. 56 (H17)	小野 てる子 (三泳会)	22. 0 (H 4)	
25m背泳ぎ	犬飼 康人 (市 民)	18. 8 (H 6)	鈴木 美幸 (みずとり)	20. 91 (H20)	
25mバタフライ	小倉 良弘 (市民の会)	14. 61 (H15)	大橋 純子 (みずとり)	18. 58 (H18)	
50m自由形	小倉 良弘 (市民の会)	30. 42 (H17)	小西 多江 (みずとり)	35. 41 (H20)	
50m平泳ぎ	堀尾 虎徹 (ルネ三鷹会)	41. 46 (H17)	大橋 純子 (みずとり)	47. 07 (H18)	
50m背泳ぎ	小倉 良弘 (市民の会)	38. 75 (H15)	小西 多江 (みずとり)	42. 56 (H20)	
50mバタフライ	土屋 宏 (市民の会)	30. 28 (H19)	鈴木 美幸 (みずとり)	40. 40 (H19)	
65才以上					
25m自由形	栗田 近 (M C C)	15. 9 (H 6)	土橋 伸子 (三泳会)	17. 67 (H19)	
25m平泳ぎ	小川 孝司 (個 人)	19. 93 (H15)	小野 てる (三泳会)	22. 76 (H 7)	
25m背泳ぎ	栗田 近 (M C C)	20. 86 (H 9)	赤星 洋子 (楽水会)	21. 86 (H20)	
25mバタフライ	井手 昭男 (M C C)	16. 66 (H 9)	菊池 美寿子 (個 人)	22. 22 (H13)	
50m自由形	深谷 壽邦 (M C C)	31. 89 (H20)	岩田 典子 (みずとり)	42. 12 (H18)	
50m平泳ぎ	梅原 健三 (セサミ三鷹)	41. 63 (H19)	小野 てる (三泳会)	53. 05 (H14)	
50m背泳ぎ	鈴木 右二 (かわうそ会)	44. 17 (H19)	赤星 洋子 (楽水会)	46. 60 (H20)	
50mバタフライ	鈴木 右二 (かわうそ会)	40. 12 (H19)	上村 民子 (三泳会)	1:02. 23 (H14)	
200才以上					
100mメドレー	市民の会	1:06. 54 (H13)	三泳会	1:13. 60 (H20)	
100mリレー	市民	59. 10 (H 8)	三泳会	1:06. 27 (H20)	
240才以上					
100mメドレー	セサミ三鷹	1:13. 75 (H20)	三泳会	1:23. 46 (H19)	
100mリレー	M C C	1:04. 62 (H20)	三泳会	1:12. 10 (H19)	
280才以上					
100mメドレー	ルネ仙川	1:30. 50 (H20)	三泳会	1:33. 66 (H20)	
100mリレー	M S G	1:16. 25 (H18)	三泳会	1:21. 17 (H19)	

種目別少年スポーツ大会水泳競技大会記録

1～2年の部

<u>女 子</u>	25m自由形	坂井 菜穂子 (金子 S S)	15.79(H. 8)
	25m平泳ぎ	岡 みずき (四 小)	23.65(H. 13)
	25m背泳ぎ	佐藤 恋 (アクラブ三鷹)	20.88(H. 12)
	25mバタフライ	坂井 菜穂子 (金子 S S)	16.81(H. 8)

<u>男 子</u>	25m自由形	藤山 翔希 (アクラブ三鷹)	16.54(H. 16)
	25m平泳ぎ	壺岐 朔己 (横河 S C)	23.30(H. 12)
	25m背泳ぎ	原田 将平 (ニッペイグサス)	22.73(H. 10)
	25mバタフライ	藤山 翔希 (アクラブ三鷹)	17.70(H. 16)

3～4年の部

<u>女 子</u>	25m自由形	坂井 菜穂子 (アクラブ三鷹)	14.98(H. 9)
	25m平泳ぎ	坂井 菜穂子 (HARAI TEAM)	18.95(H. 10)
	25m背泳ぎ	坂井 菜穂子 (HARAI TEAM)	16.66(H. 10)
	25mバタフライ	五十川 英 (アクラブ三鷹)	15.76(H. 20)

<u>男 子</u>	25m自由形	野口 聖也 (アクラブ三鷹)	14.93(H. 18)
	25m平泳ぎ	恒吉 省哉 (エリージア)	19.93(H. 9)
	25m背泳ぎ	森 聖 (五 小)	17.77(H. 15)
	25mバタフライ	清水 豪 (七 小)	16.01(H. 14)

1～4年の部

<u>女 子</u>	100mメドレーリレー	横河 S C B	1:12.54(H. 12)
	100mフリーリレー	アクラブ三鷹	1:05.68(H. 9)

<u>男 子</u>	100mメドレーリレー	アクラブ三鷹	1:14.34(H. 18)
	100mフリーリレー	アクラブ三鷹	1:05.68(H. 18)

5～6年の部

<u>女 子</u>	25m自由形	片倉 優里奈 (アクラブ三鷹)	14.02(H. 12)
	25m平泳ぎ	宮崎 美歌 (横河OBI TEAM)	17.90(H. 11)
	25m背泳ぎ	坂井 菜穂子 (横河OBI TEAM)	15.81(H. 11)
	25mバタフライ	嶋田 希美 (アクラブ三鷹)	15.46(H. 12)
	50m自由形	坂井 菜穂子 (横河OBI TEAM)	29.78(H. 11)
	50m平泳ぎ	小山 絵里 (四 小)	38.88(H. 15)
	50m背泳ぎ	坂井 菜穂子 (横河OBI TEAM)	33.77(H. 11)
	50mバタフライ	坂井 菜穂子 (横河 S C)	32.15(H. 12)
	100m個人メドレー	坂井 菜穂子 (横河 S C)	1:11.31(H. 12)
	100mメドレーリレー	高山小 A	1:11.2 (S. 61)
	100mフリーリレー	北野小	1:03.3 (S. 60)
	200mメドレーリレー	横河 S C	2:15.71(H. 12)
	200mフリーリレー	金子 S S	2:03.69(H. 7)
<u>男 子</u>	25m自由形	山口 尚己 (大沢台小)	14.22(H. 9)
	25m平泳ぎ	浜中 恭平 (アクラブ三鷹)	17.55(H. 20)
	25m背泳ぎ	森 聖 (五 小)	16.25(H. 17)
	25mバタフライ	清水 豪 (横河 S C)	13.92(H. 16)
	50m自由形	近藤 正和 (四 小)	28.06(H. 10)
	50m平泳ぎ	富山 周祐 (にしみたか)	34.80(H. 18)
	50m背泳ぎ	森 聖 (五 小)	34.11(H. 17)
	50mバタフライ	近藤 正和 (四 小)	30.87(H. 10)
	100m個人メドレー	富山 周祐 (にしみたか)	1:08.94(H. 18)
	100mメドレーリレー	一小 A	1:07.0 (S. 54)
	100mフリーリレー	アクラブ三鷹	59.33(H. 20)
	200mメドレーリレー	HARAI TEAM	2:20.72(H. 10)
	200mフリーリレー	HARAI TEAM	2:09.33(H. 10)

室内水泳選手権大会大会記録

(午前の部；小学生)

女 子				男 子			
[100mメドレーリレー]							
1～4年	1:13.91	ア ク ラ ブ 三 鷹	(H. 20)	1:10.32	ア ク ラ ブ 三 鷹	(H. 19)	
5～6年	1:06.68	ア ク ラ ブ 三 鷹	(H. 20)	1:14.32	井 口 小	(H. 17)	
[200mメドレーリレー]							
5～6年	2:17.87	三 鷹 金 子 S S	(H. 8)	2:15.42	HARAI TEAM	(H. 11)	
[25m自由形]							
1～2年	16.62	台 あかね	(H. 10)	16.94	長 畑 祐 輝	(H. 15)	
3～4年	15.18	栗 真 千 里	(H. 13)	14.79	恒 吉 省 哉	(H. 10)	
5～6年	13.62	川 瀬 寛 夏	(H. 20)	13.90	小 川 純	(H. 20)	
[25m平泳ぎ]							
1～2年	20.54	田 中 沙 季	(H. 17)	22.90	野 口 聖 也	(H. 17)	
3～4年	18.34	小 山 絵 里	(H. 14)	19.18	浜 中 恭 平	(H. 19)	
5～6年	17.52	小 山 絵 里	(H. 16)	17.72	小 川 純	(H. 20)	
[25m背泳ぎ]							
1～2年	20.92	川 瀬 寛 夏	(H. 16)	19.63	藤 山 翔 希	(H. 17)	
3～4年	17.56	米 山 彩	(H. 8)	18.01	恒 吉 省 哉	(H. 10)	
5～6年	16.13	村 越 陽 香	(H. 20)	15.70	森 聖	(H. 18)	
[25mバタフライ]							
1～2年	17.26	佐 藤 恋	(H. 13)	17.52	藤 山 翔 希	(H. 17)	
3～4年	16.18	本 橋 佳 奈	(H. 20)	15.95	清 水 豪	(H. 15)	
5～6年	14.49	川 瀬 寛 夏	(H. 20)	14.47	野 口 聖 也	(H. 20)	
[50m自由形]							
3～4年	31.32	坂 井 菜 穂 子	(H. 10)	30.72	野 口 聖 也	(H. 19)	
5～6年	29.0	合 田 啓	(H. 3)	27.08	近 藤 正 和	(H. 11)	
[50m平泳ぎ]							
3～4年	38.91	小 山 絵 里	(H. 14)	41.3	吉 野 貴 裕	(H. 7)	
5～6年	37.77	小 山 絵 里	(H. 16)	34.85	宮 沢 光 也	(H. 11)	
[50m背泳ぎ]							
3～4年	36.0	斎 藤 真 理 子	(H. 7)	37.88	青 木 章 平	(H. 14)	
5～6年	32.5	合 田 啓	(H. 3)	32.69	山 本 観	(H. 8)	
[50mバタフライ]							
3～4年	33.71	坂 井 菜 穂 子	(H. 11)	34.17	野 口 聖 也	(H. 19)	
5～6年	31.50	栗 真 千 里	(H. 15)	29.90	近 藤 正 和	(H. 11)	
[100m個人メドレー]							
5～6年	1:10.45	坂 井 菜 穂 子	(H. 12)	1:11.56	茂 谷 都 義	(H. 9)	
[100mリレー]							
1～4年	1:04.88	ア ク ラ ブ 三 鷹	(H. 17)	1:03.38	ア ク ラ ブ 三 鷹	(H. 19)	
5～6年	1:04.60	三 小	(H. 19)	1:05.98	井 口 小	(H. 17)	
[200mリレー]							
5～6年	2:02.54	三 鷹 金 子 S S	(H. 8)	2:02.77	ア ク ラ ブ 三 鷹	(H. 20)	

(午後の部；中学、高校・一般)

	女		子		男		子	
[200mメドレーリレー]								
中 学	2:11.28	ウルトラ 6	(H. 16)		1:54.99	Daikatsu	(H. 10)	
高校・一般	2:17.50	ウルトラ 6	(H. 16)		1:51.69	横河DAITEAM	(H. 12)	
35才以上	2:35.49	三泳会	(H. 11)		2:16.18	かわうそ会	(H. 17)	
[25m自由形]								
一般 C (30～34)	14.08	毛利 ジュン	(H. 17)		12.87	弘山 正重	(H. 19)	
一般 D (35～39)	15.2	中村 ひとみ	(H. 7)		13.16	清水 颯	(H. 19)	
一般 E (40～44)	14.79	宮沢 みどり	(H. 11)		13.4	金森 光勇	(S. 61)	
一般 F (45～49)	14.74	宮沢 みどり	(H. 17)		13.48	井口 仁隆	(H. 12)	
一般 G (50～54)	15.62	阿部 サキ子	(H. 8)		13.67	井口 仁隆	(H. 18)	
一般 H (55～59)	16.98	土橋 伸子	(H. 8)		13.93	小倉 良弘	(H. 17)	
一般 I (60～64)	18.74	柏木 多恵子	(H. 19)		15.69	犬飼 康人	(H. 12)	
一般 J (65～69)	17.79	土橋 伸子	(H. 20)		16.2	林 成一	(H. 6)	
一般 K (70～74)	20.10	小野 てる子	(H. 13)		16.32	栗田 近	(H. 10)	
一般 L (75～79)	20.81	上村 民子	(H. 19)		17.36	栗田 近	(H. 16)	
一般 M (80～84)	24.71	宮川 美世子	(H. 16)		18.12	栗田 近	(H. 20)	
[25m平泳ぎ]								
一般 C (30～34)	18.01	前田 美紀	(H. 18)		15.14	沼宮内 貴之	(H. 20)	
一般 D (35～39)	19.27	宮沢 みどり	(H. 9)		16.65	勝見 毅	(H. 9)	
一般 E (40～44)	19.06	宮沢 みどり	(H. 11)		16.90	勝見 毅	(H. 11)	
一般 F (45～49)	18.91	宮沢 みどり	(H. 18)		16.69	坂田 一晃	(H. 18)	
一般 G (50～54)	21.27	服部 三恵子	(H. 19)		18.14	服部 俊治	(H. 19)	
一般 H (55～59)	21.39	大橋 純子	(H. 19)		18.76	塚本 信之	(H. 9)	
一般 I (60～64)	22.6	小野 てる子	(H. 2)		18.99	小川 孝司	(H. 11)	
一般 J (65～69)	22.49	小野 てる子	(H. 8)		19.54	小川 孝司	(H. 16)	
一般 K (70～74)	23.76	小野 てる子	(H. 12)		21.14	牧 浩昭	(H. 16)	
一般 L (75～79)	25.27	小野 てる子	(H. 19)		25.22	宇井 寛司	(H. 9)	
一般 M (80～84)	31.43	宮川 美世子	(H. 16)					
[25m背泳ぎ]								
一般 C (30～34)	16.42	毛利 ジュン	(H. 18)		16.21	多賀 洋志	(H. 20)	
一般 D (35～39)	18.29	中村 ひとみ	(H. 9)		17.49	佐藤 勝	(H. 20)	
一般 E (40～44)	18.10	加茂 隆子	(H. 11)		16.60	大久保 雅彦	(H. 19)	
一般 F (45～49)	18.18	中村 ひとみ	(H. 16)		17.14	佐藤 清	(H. 20)	
一般 G (50～54)	20.62	服部 三恵子	(H. 20)		18.5	鈴木 右二	(H. 5)	
一般 H (55～59)	20.78	鈴木 美幸	(H. 20)		18.13	小倉 良弘	(H. 15)	
一般 I (60～64)	21.45	赤星 洋子	(H. 16)		18.23	小倉 良弘	(H. 19)	
一般 J (65～69)	23.78	土橋 伸子	(H. 20)		20.79	栗田 近	(H. 8)	
一般 K (70～74)	25.37	河野 伊代子	(H. 16)		21.36	五嶋 久寿	(H. 20)	
一般 L (75～79)	28.56	関根 芳子	(H. 20)		23.22	栗田 近	(H. 16)	
一般 M (80～84)					25.79	栗田 近	(H. 20)	
[100mメドレーリレー]								
280才以上	1:36.38	三泳会	(H. 20)		1:32.06	M C C	(H. 18)	
240才以上	1:21.92	みずとり	(H. 19)		1:14.17	セサミ三鷹	(H. 20)	
200才以上	1:12.24	みずとり	(H. 19)		1:06.83	市民の会	(H. 19)	

	女			子	男			子
[25mバタフライ]								
一般 C (30～34)	16.27	前田	美紀	(H. 20)	14.08	長谷川	寿一	(H. 19)
一般 D (35～39)	16.07	中村	ひとみ	(H. 10)	13.88	清水	颯	(H. 19)
一般 E (40～44)	15.86	中村	ひとみ	(H. 13)	14.70	奈良	和康	(H. 20)
一般 F (45～49)	15.95	中村	ひとみ	(H. 19)	14.7	小倉	良弘	(H. 4)
一般 G (50～54)	17.0	繫馬	尚子	(H. 5)	14.7	門雀	準司	(H. 1)
一般 H (55～59)	18.69	大橋	純子	(H. 18)	15.05	小倉	良弘	(H. 16)
一般 I (60～64)	19.89	市場	あい子	(H. 17)	15.24	小倉	良弘	(H. 20)
一般 J (65～69)	23.84	菊池	美寿子	(H. 13)	17.28	小川	孝司	(H. 19)
一般 K (70～74)	23.65	小野	てる子	(H. 11)	20.31	五嶋	久寿	(H. 19)
一般 L (75～79)	28.39	上村	民子	(H. 19)	26.34	井手	昭男	(H. 20)
[100mリレー]								
280才以上	1:23.48	三泳会		(H. 18)	1:17.58	M C C		(H. 18)
240才以上	1:13.24	みずとり		(H. 19)	1:03.62	セサミ三鷹		(H. 20)
200才以上	1:05.13	みずとり		(H. 18)	58.74	セサミ三鷹		(H. 19)
[50m自由形]								
中 学	27.99	片倉	優里奈	(H. 16)	25.23	宮沢	光也	(H. 14)
高校・一般 A (～24)	28.90	米山	彩	(H. 14)	25.00	北脇	潤也	(H. 12)
一般 B (25～29)	30.72	石附	恵理子	(H. 18)	25.83	晴沢	圭司	(H. 15)
一般 C (30～34)	30.96	毛利	ジュン	(H. 18)	27.46	多賀	洋志	(H. 20)
一般 D (35～39)	31.95	石田	貴子	(H. 8)	28.26	中野	裕司	(H. 9)
一般 E (40～44)	33.22	宮沢	みどり	(H. 14)	28.25	大久保	雅彦	(H. 20)
一般 F (45～49)	32.61	宮沢	みどり	(H. 16)	27.87	井口	仁隆	(H. 12)
一般 G (50～54)	34.85	小西	多江子	(H. 19)	29.24	井口	仁隆	(H. 17)
一般 H (55～59)	38.81	赤星	洋子	(H. 11)	30.72	小倉	良弘	(H. 17)
一般 I (60～64)	39.32	小田	和子	(H. 10)	30.32	深谷	壽邦	(H. 14)
一般 J (65～69)	42.72	岩田	典子	(H. 19)	35.0	栗田	近	(H. 6)
一般 K (70～74)	51.01	鈴木	芳江	(H. 19)	35.46	栗田	近	(H. 10)
一般 L (75～79)	47.83	上村	民子	(H. 18)	41:12	本間	久雄	(H. 20)
一般 M (80～84)					1:04.28	伊藤	秀夫	(H. 14)
[50m平泳ぎ]								
中 学	34.99	相原	佳菜	(H. 14)	31.43	宮沢	光也	(H. 14)
高校・一般 A (～24)	38.6	山中	一代	(S. 58)	30.98	北脇	潤也	(H. 12)
一般 B (25～29)	37.82	前田	美紀	(H. 16)	30.28	北脇	潤也	(H. 20)
一般 C (30～34)	38.87	前田	美紀	(H. 18)	33.11	沼宮内	貴之	(H. 20)
一般 D (35～39)	40.7	浅倉	憲子	(S. 59)	33.92	中野	裕司	(H. 8)
一般 E (40～44)	41.83	宮沢	みどり	(H. 12)	34.98	中野	裕司	(H. 12)
一般 F (45～49)	42.38	宮沢	みどり	(H. 17)	34.84	中野	裕司	(H. 17)
一般 G (50～54)	46.2	繫馬	尚子	(H. 5)	39.1	牧	浩昭	(S. 58)
一般 H (55～59)	46.17	大橋	純子	(H. 18)	41.9	小川	孝司	(H. 6)
一般 I (60～64)	50.9	小野	てる子	(H. 5)	42.56	深谷	壽邦	(H. 14)
一般 J (65～69)	50.41	小野	てる子	(H. 10)	41.83	梅原	健三	(H. 20)
一般 K (70～74)	51.09	小野	てる子	(H. 11)	47.20	牧	浩昭	(H. 16)
一般 L (75～79)	53.50	小野	てる子	(H. 16)	51.84	本間	久雄	(H. 20)

		女	子	男	子
[50m背泳ぎ]					
中 学	31.29	小林	亜衣 (H. 10)	28.65	笠原 俊晃 (H. 12)
高校・一般 A (～24)	30.74	毛利	邦 (H. 13)	28.88	福崎 駿介 (H. 20)
一般 B (25～29)	34.59	毛利	ジュン (H. 16)	29.81	晴沢 圭司 (H. 15)
一般 C (30～34)	34.01	毛利	ジュン (H. 17)	31.95	関本 顕耶 (H. 20)
一般 D (35～39)	38.50	中村	ひとみ (H. 8)	36.37	佐藤 清 (H. 14)
一般 E (40～44)	38.87	中村	ひとみ (H. 15)	33.78	大久保 雅彦 (H. 20)
一般 F (45～49)	39.46	中村	ひとみ (H. 19)	36.29	佐藤 清 (H. 20)
一般 G (50～54)	42.33	鈴木	美幸 (H. 16)	40.85	鈴木 彰 (H. 18)
一般 H (55～59)	44.70	赤星	洋子 (H. 11)	39.38	小倉 良弘 (H. 14)
一般 I (60～64)	45.21	赤星	洋子 (H. 16)	47.24	犬飼 康人 (H. 12)
一般 J (65～69)	52.10	河野	伊代子 (H. 9)	45.45	鈴木 右二 (H. 20)
一般 K (70～74)	54.45	河野	伊代子 (H. 16)	46.59	五嶋 久寿 (H. 19)
[50mバタフライ]					
中 学	30.26	渡辺	孝美 (H. 16)	27.65	笠原 俊晃 (H. 12)
高校・一般 A (～24)	32.32	濱中	野乃子 (H. 12)	26.95	相原 雄介 (H. 12)
一般 B (25～29)	35.65	毛利	ジュン (H. 15)	28.66	関本 顕耶 (H. 19)
一般 C (30～34)	36.03	前田	美紀 (H. 20)	29.94	清水 顕 (H. 14)
一般 D (35～39)	35.4	中村	ひとみ (H. 7)	30.93	大道寺 覚 (H. 17)
一般 E (40～44)	35.18	中村	ひとみ (H. 14)	29.91	坂田 一晃 (H. 17)
一般 F (45～49)	35.20	中村	ひとみ (H. 16)	30.31	坂田 一晃 (H. 18)
一般 G (50～54)	40.91	鈴木	美幸 (H. 18)	32.93	井口 仁隆 (H. 18)
一般 H (55～59)	40.73	鈴木	美幸 (H. 20)	33.32	小倉 良弘 (H. 13)
一般 I (60～64)	45.49	市場	あい子 (H. 17)	34.77	小倉 良弘 (H. 20)
一般 J (65～69)				41.33	鈴木 右二 (H. 20)
一般 K (70～74)				58.51	井手 昭男 (H. 16)
一般 L (75～79)				59.77	栗田 近 (H. 19)
[100m個人メドレー]					
中 学	1:08.49	坂井	菜穂子 (H. 14)	1:00.76	相原 雄介 (H. 10)
高校・一般 A (～24)	1:07.91	毛利	邦 (H. 13)	59.00	相原 雄介 (H. 12)
一般 B (25～29)	1:13.50	毛利	ジュン (H. 16)	1:05.38	関本 顕耶 (H. 17)
一般 C (30～34)	1:31.4	近藤	志津世 (H. 7)	1:11.94	弘山 正重 (H. 19)
一般 D (35～39)	1:24.96	中村	ひとみ (H. 10)	1:08.54	中野 裕司 (H. 8)
一般 E (40～44)	1:23.84	中村	ひとみ (H. 15)	1:09.67	中野 裕司 (H. 11)
一般 F (45～49)	1:26.49	近藤	志津世 (H. 18)	1:11.96	中野 裕司 (H. 17)
一般 G (50～54)	1:31.49	小西	多江子 (H. 19)	1:20.29	井口 仁隆 (H. 17)
一般 H (55～59)				1:23.93	小倉 良弘 (H. 16)
一般 I (60～64)				1:25.77	深谷 壽邦 (H. 16)
一般 J (65～69)				1:31.00	牧 浩昭 (H. 12)
一般 K (70～74)				1:39.91	五嶋 久寿 (H. 20)
一般 L (75～79)	2:31.11	宮川	美世子 (H. 11)		
[200mリレー]					
中 学	1:56.76	ウルトラ 6	(H. 16)	1:45.80	Daikatsu (H. 10)
高校・一般	2:01.83	六中力泳会	(H. 14)	1:40.70	横河DAITEAM (H. 12)
35才以上	2:20.23	かわうそ会	(H. 17)	1:55.94	かわうそ会 (H. 17)

三 鷹 市 水 泳 連 盟 規 約

第 1 章 （名称及び事務所）

第 1 条 本連盟は、三鷹市水泳連盟と称する。

第 2 条 本連盟の事務所を三鷹市市民体育館内体育協会事務局に置く。

第 2 章 （目的及び事業）

第 3 条 本連盟は、アマチュアスポーツの精神に基づき水泳の健全な普及・発展を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与することと、相互の親睦を図ることを目的とする。

第 4 条 本連盟は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 水泳及び水泳競技に関する技術の調査・研究
2. 水泳大会ならびに競技会の開催
3. 水泳に関する練習会の開催及び指導者の養成
4. 水泳及び水泳競技に関するグループの育成
5. 同じ目的を有する他の団体との連絡
6. その他本連盟の目的達成に必要な事業を行う

第 3 章 （組 織）

第 5 条 本連盟は、水泳愛好者にして、本連盟の趣旨に賛同する在住、在勤、在校者をもって構成する。

第 6 条 本連盟の会員は、団体会員、準団体会員及び個人会員とする。なお、本連盟への登録は、重複してはならない。

2. 団体会員とは、一般自主クラブ及び企業クラブの会員をいう。
3. 準団体会員とは、連盟が直接運営するグループの会員（部員）をいう。
4. 個人会員とは、正当な理由により自主クラブに加入できない会員をいう。

上記の会員とは、次の各号の一に該当する会員をいう。

ア. 水泳界に多大な業績を残し、今後、三鷹市の水泳に貢献し得る者

イ. 団体会員から個人会員に変更する場合には、正当な理由を有し、かつ、所属クラブの推薦を受けた者で、今後も三鷹市の水泳に貢献し得る者

第 4 章 （役 員）

第7条 本連盟に、次の役員を置く。

1. 会 長 1 名
2. 副 会 長 1 名
3. 理 事 (若干名)
4. 監 査 2 名

第8条 会長及び副会長は、理事会において推せんされ、総会で承認を得る。

2. 会長は、本連盟を代表し、会務を総理する。

3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

第9条 理事は、各加盟団体（準団体を除く。）から推挙された者であつて、連盟の業務を議決し、本連盟の運営に当たる。

第10条 理事長は、理事の互選により選出し、本連盟の業務を掌る。

第11条 監査は総会において選出し、本連盟の会計を監査する。

第12条 役員の任期は、1年とする。但し、再任を妨げない。

2. 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第13条 本連盟は、必要に応じて理事会の議を経て、顧問、参与を置くことができる。

第5章 （連盟への加入及び資格の喪失）

第14条 本連盟に加入するときは、理事会の承認を得なければならない。

第15条 本連盟の加盟団体及び個人会員は、次の事由によって資格を喪失する。

1. 脱 退
2. 加盟団体の解散
3. 除 名

第16条 本連盟の加盟団体及び個人会員が次の各号の一に該当するときは、理事会の議決を経て、会長がこれを除名することができる。

1. 本連盟としての義務に違反したとき
2. 本連盟の名誉を傷つけ、又は連盟の目的に違反する行為のあったとき
3. 会費を一年以上滞納したとき

第17条 加盟団体及び個人会員は、所定の会費を毎年5月末日までに、連盟に納付すること。

第6章 （会 議）

第18条 本連盟の会議は、総会及び理事会とする。

第19条 総会は、各加盟団体（準団体を除く。）及び個人会員が推挙する者（評議員）で構成し、毎年1回定期に会長が招集する。但し、臨時総会は必要に応じて、随時招集することができる。なお、総会は評議員の過半数をもって成立し、議決は有効投票の

過半数をもって決定する。

第20条 総会は、会長・副会長の承認、事業計画及び予算、決算等を討議し、連盟の運営のための指針を決定する。

第21条 加盟団体（準団体を除く。）及び個人会員は、評議員（員数は理事会で別途定める）を総会に出席させる義務を有する。

第22条 理事会は、会長、副会長及び理事で構成し、必要に応じ、理事長は随時招集することができる。

第23条 個人会員は、理事会に連絡員を参加させることができる。

第7章（経 費）

第24条 本連盟の経費は、会費その他の収入によって支弁する。

第25条 本連盟の会費は、理事会において別途定める。

第26条 本連盟事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

第8章（専門部会）

第27条 本連盟理事会の執行機関として次の部を設置し、それぞれ専門的活動を行う。

1. 総 務 部
2. 競 技 部
3. 普及・指導部
4. 会 計 部
5. ジ ユ ニ ア 部
6. G. シ ニ ア 部
7. スペシャルチーム
8. 渉 外
9. 事 業 管 理 部

第28条 本規約の改正は、総会において出席評議員3分の2以上の同意を必要とする。

第29条 本規約で定めた以外の細目は、理事会において別途定める。

附 則

この規定は、昭和52年4月1日から施行する。

昭和53年3月26日一部改正 昭和54年3月11日一部改正

昭和55年3月16日一部改正 昭和56年3月15日一部改正

昭和60年3月17日一部改正 平成 6年3月13日一部改正

平成18年3月11日一部改正

三鷹市水泳連盟ジュニア部細則

1. 目 的

児童に対し、水泳の指導を通じて心身の健全なる発達と水泳の楽しさを会得させ、泳力の向上とスポーツマンシップの養成を図るための指導方針を確立すること。

2. 組織及び運営

ジュニア部は部長1名、副部長若干名、専任コーチ若干名、コーチ及び部員をもって構成し、運営は部長、副部長が当たる。なお、運営、指導上の補佐、会計として専任コーチの中からマネージャを置く。

(イ) 部長は役員（顧問を含む）より選出し、ジュニア部を総括する。

(ロ) 副部長は理事の中から部長が任命し、部長を補佐する。

(ハ) 専任コーチは部長より委嘱を受けた者で、指導及び日常の運営に当たる。

(ニ) コーチは連盟に所属する指導員の中よりコーチとして登録した者で、ジュニア部の育成に当たる。

3. 部 員

(1) 定 員

150 名

(2) 入 部

(イ) 三鷹市在校、在住の小学校2年生から6年生の児童で、市報により公募する。

(ロ) 健康状態が水泳訓練を受けるのに支障がなく、練習日が夜間の場合、保護者の送迎が可能な者

(3) 退 部

(イ) 退部の届を出した者

(ロ) 除名（ジュニア部員として不適当と判断し退部を勧告された者）

(ハ) 部費及び運営費を理由なく3ヶ月以上滞納した者

(4) 部員の在籍期間

原則として1ヶ年とする。但し、継続は認める。

4. 損害の補償について

万一、不測の事故等により損害を蒙ることがあっても本人はもとより、家族の者も連盟とその運営者、コーチに対して一切の責任、損害の補償等は求めないこととする。

5. 会 計

ジュニア部の経費は部費、運営費をもって充当する。なお、部費及び運営費等は別途定める。

- (イ) 部費は毎月の練習の回数に応じて前月末日までに指定の金融機関に振り込む。
- (ロ) 運営費は年一回、入部時及び各新年度毎に納入する。
- (ハ) 合宿・遠足費は、参加者のみ、その都度納入する。

6. その他の運営に関する細目は理事会又は運営委員会（部長・副部長）において定める。

附 則

- (1) 本規定は、昭和56年4月1日より実施する。
- (2) 昭和58年4月一部改正
- (3) 平成 4年4月一部改正
- (4) 平成19年3月6日一部改正

三鷹市水泳連盟グランド・シニア部細則

1. 目 的

グランド・シニア部（以下G.シニア部という。）は水泳の指導を通じて、生活の活性化と人生に生き甲斐を見い出し、併せて老化の予防、健康の増進・維持を図るとともにスポーツマンシップの養成に寄与し、合せて中高齢者に対する連盟の指導方針を確立すること。

2. 組織及運営

G.シニア部は部長1名、副部長若干名、専任コーチ若干名、コーチ及び部員をもって構成し、運営は部長、副部長が当る。また指導は部長、副部長の指示に従い専任コーチが主として当る。なお、運営、指導上の補佐、会計として専任コーチの中からマネージャーを置く。

(イ) 部長は役員（顧問を含む）より選出し、G.シニア部を総括する。

(ロ) 副部長は理事の中から部長が任命し、部長を補佐する。

(ハ) 専任コーチは部長より委嘱を受けた者で、指導及び日常の運営に当たる。

(ニ) コーチは連盟に所属する指導員の中より、コーチとして登録した者で、G.シニア部の育成に当たる。

(ホ) 部員の中より若手名の幹事を選出し、部員間の交流、親睦、連絡等に当る。

3. 部 員

(1) 定 員

A班130名、B班130名とする。

(2) 入 部

(イ) 三鷹市在住、在勤の満50才以上の者で原則として、市教委主催の中高年齢者水泳教室または水泳連盟泳法講習会水慣れコースの終了者とする。

(ロ) 連盟加盟の自主クラブに5ケ年以上の在籍者で、満60才以上に達した者の中で本人が移籍を希望し、所属クラブの推薦を受け部長、副部長の承認を得た者

(ハ) その他特別に部長、副部長の認めた者

(ニ) 上記（イ）、（ロ）、（ハ）に該当する者で、心身共に健康で水泳訓練を受けるのに支障がなく自己の健康管理が充分にできる者

(3) 退 部

(イ) 退部の届を出した者

(ロ) 除名（G.シニア部員として不適当と判断し、退部を勧告された者）

(ハ) 部費及び運営費を理由なく3ヶ月以上滞納した者

(ニ) 身体上の理由で退部を勧告された者

(4) 部員の在籍期間

原則として1ケ年とする。但し、継続は認める。

4. 遵守事項

別に定めるG.シニア部の遵守事項を厳守し、また、スポーツマンとして定められたルールに従い、部員としての誇りと矜持をもって行動すること。

5. 損害の補償について

万一、不測の事故等により損害を蒙ることがあっても本人はもとより、家族の者も連盟とその運営者、コーチに対して一切の責任、損害の補償等は求めないこととする。

6. 会 計

G.シニア部の経費は部費、運営費をもつて充当する。なお、部費及び運営費等は別途定める。

(イ) 部費は毎月の練習の回数に応じて前月末日までに指定の金融機関に振り込む。

(ロ) 運営費は年一回、入部時及び各新年度毎に納入する。

(ハ) 合宿・遠足費は、参加者のみ、その都度納入する。

7. その他の運営に関する細目は理事会又は運営委員会（部長・副部長）において定める。

付 則

(1) 本細則以外については連盟の規約による。

(2) 本規定は昭和60年4月1日より実施する。

(3) 平成4年4月一部改正

(4) 平成9年2月27日一部改正

(5) 平成19年3月6日一部改正

三鷹市水泳連盟グランド・シニア部内規

1. 幹 事

- (イ) 幹事はG.シニア部の各班より1名ずつ選出し、部長、副部長及び専任コーチからの連絡事項の処理及び部員間の交流、親睦等に当る。
- (ロ) 幹事の任期は一ケ年とする。但し、補欠幹事の任期は、前任者の残任期間とする。

2. 遵守事項

- (イ) 身体の状態により、水泳をして良いか、悪いか等、健康については自己の責任に於いて十分に管理すること。
- (ロ) 練習中の事故防止については、自分自身で注意するとともにコーチの指示に従うこと。
- (ハ) 身体上の理由で連盟が医師の診断を求めた場合には、速やかに指示に従うこと。
- (ニ) 上記の理由又は、その他の理由にて連盟退会を求められた場合には速やかにこれに従うこと。
- (ホ) 如何なる理由にせよスポーツ精神に反する言動、行動は厳に慎しむこと。

3. 部費及び運営費

(イ) 部 費

部費は練習日が月2回の場合月額1,600円、月3回の場合には2,400円、月4回の場合には3,200円とする。

(ロ) 運営費

運営費はスポーツ傷害保険、通信費等に当てるもので、年額2,000円とし、4月分の部費と同時に納入する。

(ハ) 部費等の納入方法

各自、三鷹市農業協同組合に口座を作り、その口座に部費等を振り込む。

4. そ の 他

- (イ) 本内規は、昭和60年4月1日より実施する。
- (ロ) 本内規の変更は、部長、副部長の協議による。
- (ハ) 平成4年4月一部改正
- (ニ) 平成18年4月一部改正

♣♣ 三鷹市水泳連盟創立50周年を祝う集い ♣♣

日 時 2008年11月29日(土) 17:30～21:05

場 所 三鷹産業プラザ 7階

		受付開始	17:00
第1部 記念式典	進行；三鷹市水泳連盟理事長	深谷壽邦	
1. 開会のことば	三鷹市水泳連盟副会長	菊地輝男	17:30
2. ご挨拶	三鷹市水泳連盟会長	神 忠久	17:35
3. ご来賓祝辞			
○ 三鷹市長		清原 慶子 様	17:40
○ 三鷹市市議会議長		石井 良司 様	17:45
○ 三鷹市体育協会会長		清水 紘子 様	17:50
○ 東京都水泳協会会長		濱出 雄三 様	17:55
4. ご来賓紹介	三鷹市水泳連盟顧問	井手昭男	18:00
5. 選手紹介	第42回市町村大会水泳競技選手を紹介		
	紹介者；三鷹市水泳連盟会長	神 忠久	18:10
6. 50周年記念表彰（特別功労賞）	受賞者	井手昭男	
		神 忠久	
		正田朋子	
	表彰者；三鷹市水泳連盟副会長	菊地輝男	18:20
	同 個人会員	竹島茂子	
7. 閉会のことば	三鷹市水泳連盟創立50周年行事实行委員長	深谷壽邦	18:25
休憩（パーティ会場へ移動）		会場準備	17:30
		受付開始	18:00
第2部 記念パーティ	進行；総務部長	刈谷 仁	
1. 開会のことば	三鷹市水泳連盟顧問	正田朋子	18:30
2. 乾 杯	三鷹市水泳連盟顧問	井手昭男	18:33
3. 会 食			18:36
	プロジェクターを利用して「三水連のあゆみ」・「クラブ紹介」		19:20
4. ショータイム（有志によるアトラクション）	格地 剛・丹治久枝		20:10
フィナーレ	♪『青い山脈』・『三鷹名物』		20:50
5. 閉会のことば	三鷹市水泳連盟理事長	深谷壽邦	21:05

創立50周年記念行事実行委員会名簿

実行委員長	深谷壽邦
総 括	(主)神 忠久、菊地輝男、深谷壽邦
総 務	(主)刈谷 仁、後藤英文、中村ひとみ、日隈寿江
企 画	(主)菊地輝男、大道 裕、格地 剛
進 行	(主)刈谷 仁、日隈寿江
会場設営	(主)菊地輝男、深谷壽邦、格地 剛、丹治久枝、釜池 宏、 古小路英子、田中英夫
受付・接待 (クローク含)	(主)正田朋子、亀田千鶴子、中村ひとみ、中村知子、小林広美、 山川真弓、丸岡千賀子、宮沢みどり、二宮町子、須山ふみ子、 褒綿ちよ子
表彰係	(主)菊地輝男、竹島茂子
写真係	(主)一戸伸代、丹下義信
ビデオ	(主)鈴木祐二、田中和子
ケータリング	(主)一戸伸代、柏木多恵子、深谷壽邦
催し物	(主)格地 剛、丹治久枝、出場チームの代表者
記念品	(主)竹島茂子、工藤宏子
会 計	(主)山川真弓、亀田千鶴子
記念誌	(主)菊地輝男、神 忠久、正田朋子、深谷壽邦、藤原裕也、 釜池 宏、中村ひとみ、田中秀子、二宮町子、佐藤千代治

◆ 編集後記

本誌の編集委員には会長、副会長、理事長、総務部長の他、各クラブの会長をお願いしましたが、これは原稿を依頼する際そのクラブの誰が適任者か、一番よくわかっているからです。

原稿はすべてmailで頂きましたが、これにより校正の煩わしさもなくなり、印刷が出来上がるまでの期間が短縮されました。

記念誌の編纂で最も大変なのは、年表を作成するための資料集めですが、三鷹市水泳連盟の場合、「三水連だより」に毎月開催している理事会の審議事項を掲載しているので、比較的容易に調べることが出来ました。

普段はあまり興味をひかないような記事でも過去の行事の概略を把握する時には大いに役立ちます。

今回の50周年記念誌の編纂にあたり、十分な時間をかけられなかったため必ずしも満足 of いくものが出来ませんでした。今後の三鷹市水泳連盟及び加盟団体の活動に何らかの形で役に立てば幸いです。

T. K.

2008年(平成20年)11月29日 発行

編集・発行 三鷹市水泳連盟

東京都三鷹市野崎 1-1-1

三鷹市市民総合体育館

三鷹市体育協会事務局内

Tel 0422-45-1151 (内線 755)

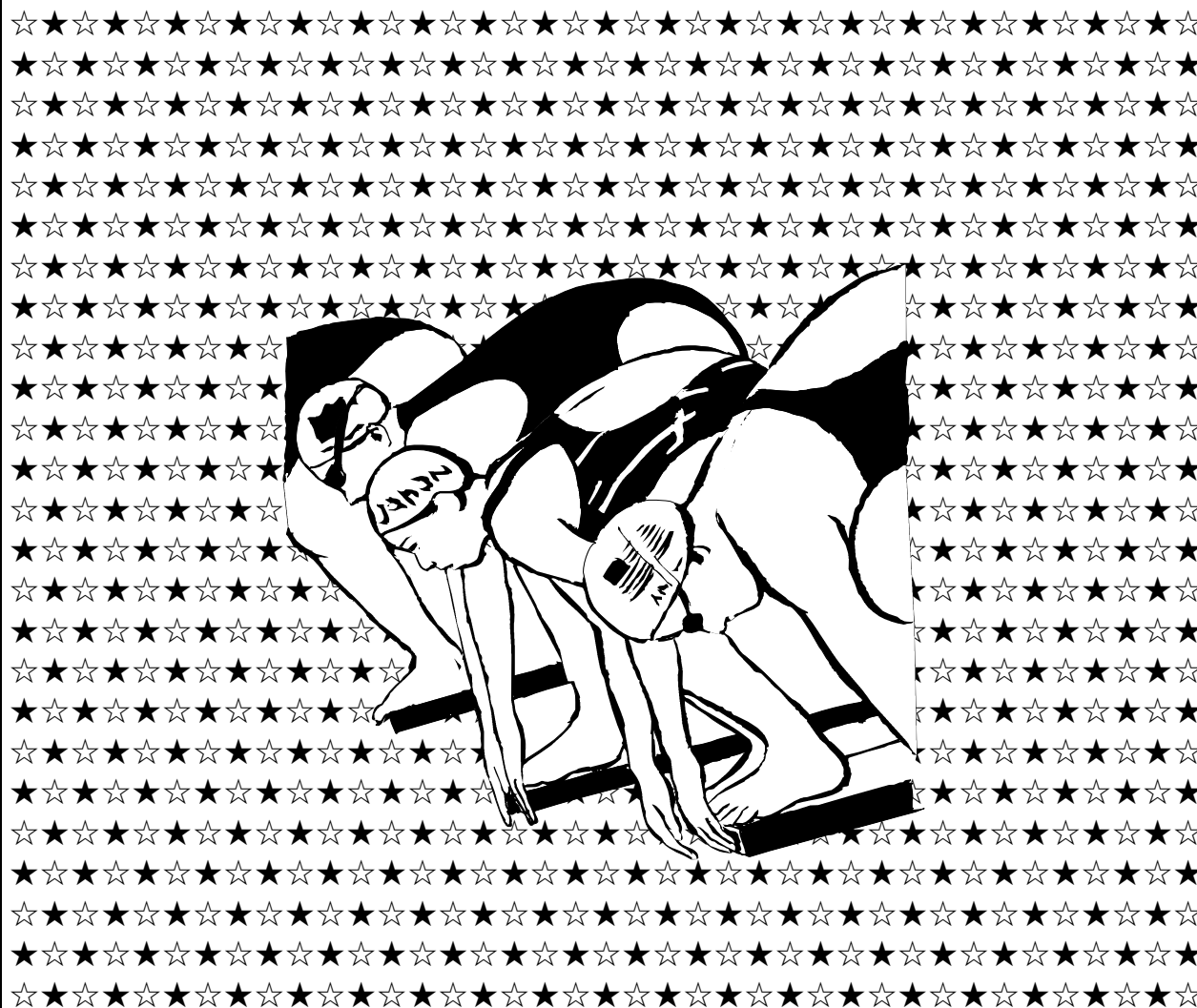
Tel 0422-43-2500 (直通)

印刷所 東京スガキ印刷株式会社

東京都豊島区東池袋 4-3-12

Tel 03-3987-2921

がんばれ！ Japan！



がんばれ！三鷹市水泳連盟！

★☆☆★★☆☆★★☆☆☆☆ http://suiren.mitaka.tokyo.jp/ ☆★★★★★☆☆★★★
 ☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆
 ★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆
 ☆★★★★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆
 ★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆

♣ ♣ ♣ 三鷹市水泳連盟加盟団体 ♣ ♣ ♣

<http://suiren.mitaka.tokyo.jp/>

日本無線水泳部



藤原裕也

〈三鷹コミュニティクラブ〉

M. C. C.



釜池宏

<http://mcc.parfe.jp/>

三泳会



中村ひとみ

<http://www.geocities.jp/saneikai2004/>

みずとり



田中秀子

<http://geocities.yahoo.co.jp/gl/mitakamizutori>

楽水会



二宮町子

<http://www1.parkcity.ne.jp/rakusuiikai/>

かわうそ会



佐藤千代治

<http://www.kawauso-mitaka.com/>

水連ジュニア部



菊地輝男

http://www.geocities.jp/junior_bu1/

〈水連グランド・シニア部〉

水連 G.S.部



神忠久

<http://suiren.mitaka.tokyo.jp/gs/>